消防年報

令和６年版

日南市消防本部

日南市の概要

位　　置

日南市は、宮崎県の南部に位置し、東に日向灘を臨み西は都城市・三股町、南は串間市、北は宮崎市に隣接しています。宮崎市から日南市を経て鹿児島県に至る延長 112km は全国有数のリアス式海岸で、日南海岸国定公園の指定を受けています。

面　　積

総面積　　535.49 平方キロメートル

面積の約 78 パーセントが山林等です。

気　　象

平均気温　　18.7 度

年間を通じ温暖な気候です。

年間降水量　2573.5 ミリ

本市の気象は、太陽と海、みどりの山々に象徴されるように温暖多照の気候条件です。平野部では一年の日照時間が平均 2,200 時間以上と多く、南海型気候区に属する高知県・紀伊半島南部などとともに日本で最も日照に恵まれた地域の一つであり、温暖な地帯に属しています。特に冬季の日照時間は大変長く、冬型気圧配置で山沿いが曇っていても平野部は晴れている場合が多くなります。一方で鰐塚山系を含む本市は、多雨地域で、四国の太平洋岸、紀伊半島の東部とともに日本の最多雨地帯となっています。

一目統計

（令和6年４月１日現在）

	面　積	人　口	世帯数	気象
面積・人口等 自然環境				
	535.49㎢	47,396人	21,388世帯	年平均気温　18.6°C 年間を通じ温暖 総降水量　2,825㎜

	消防費	署・出張所	消防職員	消防団員数
消防予算 構成・人員				
	約30.95億円	1本部・１署 ２出張所	90人 平均年齢（40.1歳）	973人 平均年齢（45.8歳）

	ポンプ車等	特殊車両等	救急車	消防水利
消防車両 （常備） 水　　利				
	ポンプ車1台 水槽付きポンプ車3	水槽車1台、救助工作車1台 化学消防ポンプ車1台 指揮車1台、火災調査車1台 資機材搬送車１台、救急普及車1台	救急車４台	消火栓　1,628基 防火水槽　319基

	119番通報件数	火　災	救　急	救　助
災害件数 （令和5年）				
	3,034件	16件	2,984件	11件

	防火対象物数	危険物施設数	消防同意数	少年消防防火クラブ
予　防				幼年消防クラブ ２園　55人 少年消防クラブ １小中学校10名
	1,594棟	164施設	41件	

目　　次

★　総　括　★

1　市勢・・・

★　救急・救助　★

１　令和５年中の救急概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４３
２　令和５年月別救急出動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４４
（１）　管内全体・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４５
（２）　本署管内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４５
（３）　北郷出張所管内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４５
（４）　南郷出張所管内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４５
３　平成 26 年以降の救急出動件数・搬送人員数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４６
４　時間別事故種別出動件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４７
５　時間別事故種別搬送人員数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４７
６　収容所要時間別搬送人員数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４８
７　事故種別傷病程度別搬送人員数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４８
８　事故種別医療機関別搬送人員数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４９
９　管内救急告示病院一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４９
10　救急隊員の行った応急処置件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５０
11　事故種別年齢区分搬送人員数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５１
12　年齢区分別傷病程度別搬送人員数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５２
13　現場到着所要時間別出場件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５２
14　事故種別不搬送理由別不搬送件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５２
15　事故種別転送回数別搬送人員数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５３
16　傷病程度別転送回数別搬送人員数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５３
17　令和５年中の救助業務概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５４
18　事故種別救助活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５５
19　管轄別救助活動件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５５

★　消防水利・機械　★

１　消防水利施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５７
２　常備消防・機械性能一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５８
３　機械器具配置状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５９
４　非常備消防車両・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６０

★　火　災　★

1　令和５年中の火災概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６３
2　令和５年月別火災発生状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６４
3　令和５年火災発生記録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５５
4　時間別出火件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６６
5　過去５年間種別火災発生件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６６
6　平成 14 年以降の 1,000 万円以上の損害を出した火災・・・・・・・・・・・・・・６７
7　平成 13 年以降地区別出火状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６８
8　平成 13 年以降死者を出した火災・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６９
9　過去５年間の原因別出火件数と損害額・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７０
10　過去５年間の林野火災　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７０

★　危険物　★

1　令和５年度の危険物関係及び防火対象物の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・７３
2　危険物施設状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７４
3　危険物類別状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７５
4　危険物数量別施設数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７６
5　危険物施設の許可申請等処理状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７７
6　危険物規制事務処理状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７８
7　危険物手数料徴収状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７９

★　予　防　★

1　防火対象物状況
　　（消防用設備等及び防火管理者を要する対象物）・・・・・・・・・・・・・・・８３
2　令和５年度予防関係諸届出状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８４
3　令和５年度月別工事別建築申請処理状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８５
4　令和５年度用途別建築申請処理状況表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８６
5　防火対象物の階層別状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８７
6　日南市幼年少年防火クラブ結成状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８８

総　括

1　市　勢

日南市は、宮崎県の南部に位置し、宮崎市、三股町、都城市、串間市に隣接、地域の東側は日向灘に面し、その海岸線は「日南海岸国定公園」に属しています。

一方、北西部の山地には、標高 1,000m級の小松山や男鈴山などを有し、本地域の８割弱が林野で、そのほとんどが飫肥杉などの人工林で占められています。

日南地方はその昔、平安朝時代藤原荘園として開拓された地方で日向八院の一つである飫肥院のあったところと伝えられています。建久元年、工藤祐経が日向地頭職に任ぜられてから、飫肥城をめぐり、伊東、島津の争いが続きましたが、豊臣秀吉の九州征伐後はついに伊東家の居城となり、五万一千石飫肥藩として広い領域を統治しました。

昭和 25 年１月１日、近隣の飫肥、吾田、油津、東郷の４町村が大同団結し市制を施行しました。その後２回に亘る隣接町村の合併によって、「日南市」の体制が完備され、平成 21 年３月 30 日、日南市、北郷町、南郷町の三市町による新設合併が行われました。風光明媚な日南海岸国定公園の港町「油津」、山紫水明の城下町「飫肥」、大自然に囲まれた、緑と清流と温泉の町「北郷」、豊かな大自然と触れ合い、カツオ一本釣りの港町「南郷」を観光拠点として「緑と黒潮が育む産業・文化・交流都市」をキャッチフレーズとして躍進が期待されています。

2　地域の発展

（推計人口）

事　　項	年　月　日	合　併　区　域	面　積（k㎡）	人口（人）	1k㎡当人口
市 制 施 行	昭和 25.　1.　1	―	98	41,238	421
第１次合併	昭和 30.　2.11	細田町鵜戸村編入合併	191(93)	57,020	299
第２次合併	昭和 31.　4.　1	酒谷村榎原村大窪地区編入合併	295(104)	63,083	214
第３次合併	平成 21.　3.30	日南市、北郷町、南郷町新設合併	536.11	57,930	108
現　　在	令和 6.　4.　1	―	535.49	47,396	88.5

（　　）は合併地域の面積

3　市街地の形成

本市は、国道 222 号線に沿って、東西に帯状の市街地を形成しています。

東は遠洋漁業の拠点である油津港を中心に海運関連企業と商業の街区で、西は飫肥城を中核とする歴史と文化の街となっており、昭和 52 年、国の重要伝統的建造物群保存地区の選定を受け、小京都のイメージを今日に伝え、静かな観光ブームを迎えています。中央部は王子製紙日南工場及び傘下工場と官公庁が集中し、住宅も密集傾向にあり、日南市の中心になっています。

本市は、「人を創る」「安心を創る」「産業を創る」「未来を創る」の４つのテーマをまちづくりのコンセプトとして４つのテーマごとに整理を行い、事務事業を推進します。

４ 現有消防力と人口・世帯・面積

令和６年４月１日現在

	人 員			車 両												
	定数	実員	水槽付消防ポンプ車	消防ポンプ車	水槽車	積載車	救急車	救助工作車	化学車	指揮車	火災調査車	資機材輸送車	防災学習車	救急普及啓発車	連絡車	予備車
消防本部	86	85	※3	1	1		4	1	1	1	1	1		1	1	1
消防団	1,036	973	1	12		36							1			1

※化学車に代えて配置する泡放出装置を備えた消防ポンプ自動車を含む。（日南南タンク６）

令和６年４月１日現在

	面 積 （単位：㎢）	人 口 （単位：人）	世 帯 （単位：戸）
日 南 市	535.49	47,396	21,388

５　消防の沿革

（１）＜旧日南市＞

昭和２５年　１月・日南市制施行日南市消防団発足

分団部	団員数	消防 ポンプ車	自動三輪 ポンプ車	手動動力 ポンプ	腕用 ポンプ
４分団２５部	１，５２９名	４台	１台	５台	１４台

３月・消防本部を設置

昭和２７年　８月・日南消防署（油津地区）発足署員１５名

消防ポンプ自動車１台を配備

昭和２９年　４月・今町大火災により４２棟全焼

昭和３０年　２月・細田町、鵜戸村合併

分団部	団員数	消防 ポンプ車	自動三輪ポ ンプ車	手動動力 ポンプ	小型 ポンプ
６分団	１，３１７名	１１台	１台	６台	１９台

昭和３１年　４月・酒谷村、榎原村大窪地区合併

分団部	団員数	消防 ポンプ車	自動三輪 ポンプ車	手引 ポンプ	小型 ポンプ	積載車
７分団３８部	１，４６０名	１２台	１１台	６台	１９台	３台

昭和３２年　８月・水槽付消防ポンプ車１台（日南消防署）を配備

１０月・消防専用電話（消防本部、日南消防署、日南市飫肥出張所間）を架設

昭和３３年　２月・日本消防協会から優良消防団として団旗「竿頭綬（かんとうじゅ）」を拝受

３月・消防無線基地局（５W）、移動局１基を新設

１０月・飫肥消防署発足、署員１５名、水槽付消防ポンプ車、消防ポンプ車１台を配備

・日南消防署を油津消防署に改称

分団部	団員数	消防 ポンプ車	手引 ポンプ	小型 ポンプ	積載車
７分団３６部	１，３７０名	１２台	３台	２４台	５台

昭和３４年　　・市内７か所に防火推進モデル地区を設定し、火災予防の徹底を期す

昭和３５年　５月・チリ地震による津波襲来
昭和３６年　２月・日向灘地震（震度５）発生
　　４月・年次計画による鉄製ホース干台建設に着手
　　１０月・水槽付消防ポンプ車（油津消防署）を更新
昭和３８年１０月・消防吏員４名増員、署の編成を小隊、分隊組織（総員４１名）に改組
　　１１月・日本損害保険協会から消防ポンプ車１台（油津消防署）を受贈
　　・消防団員の定員１，３７０名から１，２１６名に改正
昭和３９年　９月・９月２４日、台風２０号が来襲し、消防施設災害復旧のため予備費充用
　　１２月・指揮車兼救急車（消防本部）を配備
昭和４０年　１月・救急業務開始
昭和４２年　３月・救急車（国庫補助：日南ロータリークラブから資金の一部を受贈）を配備、昼間は消防本部、夜間は油津消防署での運用
　　・消防団拠点施設（東郷分団第５部）竣工
昭和４３年　３月・日本消防協会から優良消防団として表彰旗を拝受
昭和４４年　７月・５ｔ水槽車（飫肥消防署）を配備
　　・消防無線基地と移動局３基を設置
　　１１月・星倉水防倉庫を市役所内に移転新築し、中央水防倉庫と改称
昭和４５年　　・消防無線移動局（指揮車）を設置
昭和４６年　１月・永年日南市消防団長として、その重責を全うされていた竹田末義氏が１月１１日に永眠され、その功を労い、正六位勲五等双光旭日章を贈り、日南市消防団葬をもって冥福を祈る
　　１１月・複雑化する火災に対処するため、耐熱服、空気呼吸器、高発泡器を配備
　　１２月・消防庁舎建設予定地として、日南市中央通りに１，５３８㎡を購入
　　・年次計画による鉄製ホース干台の設置が本年度達成
昭和４７年　４月・消防署員４名を増員し、条例定数を４５名に改正
昭和４８年　３月・中央通り一丁目１－９に消防庁舎竣工
　　・１本部、１署、２出張所とし、消防本部を４課（総務課・警防課・予防課・機械課）体制に改編
　　・消防職員４名増員、条例定数を４９名に改正
　　・油津出張所竣工
　　６月・農協共済から救急車１台を受贈
　　１２月・消防団拠点施設（飫肥分団第２部）竣工
昭和４９年　７月・無線移動局（消防署全車両）を設置
　　・市町村単独周波数に変更
　　１１月・建物の高層化と災害の複雑化に対処するため救助隊を編成
　　・消防団拠点施設（飫肥分団第４部）竣工
昭和５０年　４月・消防団組織（３６か部→３５か部、団員数１，０３２名→７９８名）を改編
　　・細田分団第１部、第２部を統合※細田分団第２部の名称が消滅

昭和５１年　３月・治水ダム建設に伴い、消防団拠点施設（酒谷分団第３部）移転竣工
・消防団拠点施設（細田分団第７部）竣工
・消防署訓練用地として３６７㎡を購入
４月・毎月１９日を「市民消防の日」と制定し、２１時にサイレン吹鳴を開始
９月・日本船舶振興会から小型動力ポンプ付積載車１台を受贈
昭和５２年　３月・消防署飫肥出張所（新築）竣工
・消防団拠点施設（酒谷分団第１部）竣工
５月・１０ｔ水槽車（消防署：２号車）を配備
９月・消防ポンプ自動車（東郷分団第５部）を配備
１２月・中央水防倉庫（消防本部２Ｆ）竣工
昭和５３年　１月・小型動力ポンプ積載車（酒谷分団第３部）を配備
３月・油津分団（３か部を統合）格納庫を増築竣工
７月・指揮車（消防本部）を配備
１１月・水槽付消防ポンプ自動車（油津出張所）を配備
・４０㎥防火水槽２基（宮ノ前、風田：国庫補助）を設置
昭和５４年　２月・救急車（消防署：国庫補助）を配備
・消防団拠点施設（細田分団第５部、７部）竣工
・小型動力ポンプ付積載車（飫肥分団第５部、吾田分団第５部、東郷分団第２部）を配備
１２月・小型動力ポンプ付積載車（東郷分団第３部、細田分団第４部）を配備
・消防ポンプ自動車（消防署：３号車）を更新
昭和５５年　１月・消防救急指令装置Ｃ型を導入
３月・消防団拠点施設（酒谷分団第２部、鵜戸分団第３部）竣工
・２０㎥防火水槽２基（上隈谷、中ノ八重）を設置
４月・油津分団（３か部→２か部）、鵜戸分団（５か部→３か部）、東郷分団（７か部→４か部）を改編
・７か分団本部の団員を班長に改組
９月・小型動力ポンプ付積載車（飫肥分団第４部、鵜戸分団第１部、東郷分団第１部）を配備
１２月・小型動力ポンプ（吾田分団第５部、細田分団第３部）を配備
昭和５６年　２月・４０㎥防火水槽２基（東郷平山、鵜戸宮浦）を設置
・消防団拠点施設（東郷分団第４部、鵜戸分団第２部）竣工
５月・油津銀天街大火災（２４店舗全半焼）発生
７月・消防団拠点施設（東郷分団第２部）竣工
１１月・消防ポンプ自動車（細田分団第１部）を配備
・小型動力ポンプ（細田分団第５部、鵜戸分団第１部）を配備
・小型動力ポンプ付積載車（飫肥分団第２部、吾田分団第４部）を配備
昭和５７年　３月・消防団拠点施設（酒谷分団第４部）竣工

４月・日南市と南郷町の消防事務委託による広域消防を発足
・県農協共済連から救急車１台を受贈
・消防吏員４名採用
６月・条例定数を６１名に改正
８月・小型動力ポンプ（東郷分団第２部、酒谷分団第４部）を配備
９月・救助資機材搬送車（消防署：日本消防協会から受贈）を配備
・４０㎥地下式防火水槽（飫肥今町住宅内）を設置
１０月・小型動力ポンプ付積載車（細田分団第７部）を配備
１１月・消防ポンプ自動車（吾田分団第２部）を配備
１２月・消防団拠点施設（細田分団第４部、鵜戸分団第４部）竣工
昭和５８年　１月・２０㎥地下式防火水槽３基（飫肥瀬田尾、細田東下中、酒谷秋山）を設置
２月・小型動力ポンプ付積載車（酒谷分団第２部）を配備
・消防団拠点施設（細田分団第３部）竣工
３月・救助技術訓練施設（消防署）を増設
９月・消防団拠点施設（飫肥分団第２部）竣工
１１月・小型動力ポンプ付積載車（吾田分団第１部）を配備
・４０㎥地下式防火水槽（酒谷桜馬場）を設置
・自治体消防３５周年記念大会（日本武道館）正副団長、分団長１０名出席
・小型動力ポンプ（東郷分団第１部、細田分団第４部）を配備
昭和５９年　１月・小型動力ポンプ付積載車（鵜戸分団第４部）を配備
２月・消防団拠点施設（細田分団第６部）竣工
・２０㎥地下式防火水槽３基（飫肥倉掛、吾田後河内、鵜戸富士）を設置
３月・消防ポンプ自動車（油津分団第２部）を配備
・消防団拠点施設（東郷分団第３部）竣工
・消防庁舎別棟（２階建て：延べ面積３２０㎡）竣工
５月・油津西町埋立地にて宮崎県総合防災訓練を実施
９月・１４日、宮崎県消防繰法大会（小型ポンプの部）「飫肥分団第２部準優勝」
・４０㎥地下式防火水槽（油津西町）を設置
１１月・小型動力ポンプ付積載車（吾田分団第６部、鵜戸分団第２部）を配備
・水槽付消防ポンプ車Ⅱ型（消防署）を配備
１２月・小型動力ポンプＢ３級（吾田分団第１部、消防署）を配備
昭和６０年　２月・消防団拠点施設（飫肥分団第３部、吾田分団第４部、東郷分団第５部）竣工
・消防無線局（基地局、滝ケ平中継局、サイレン無線制御装置２カ所）竣工
・２０㎥地下式防火水槽３基（酒谷鯛ノ子、飫肥原ノ迫、細田下方）を設置
３月・小型動力ポンプＢ３級（東郷分団第３部、飫肥分団第２部）を配備
４月・消防訓練場用地（西弁分１，７８１㎡：換地１，１７８㎡）取得
８月・消防庁舎冷暖房設備竣工
・小型動力ポンプ（鵜戸分団第４部）を配備

９月・消防大学校救助科（１名）入校
・油津西町にて南那珂支部消防操法大会（ポンプ車の部）を実施「飫肥１部優勝」
１０月・小型動力ポンプ付積載車（酒谷分団第４部）を配備
・消防ポンプ自動車ＢＤ－Ⅰ型（飫肥分団第３部）を配備
１１月・小型動力ポンプ付１０ｔ水槽車（消防署）を配備
・消防訓練場用地取得西弁分１，０１１㎡×４筆４，０４４㎡：換地１，１７８㎡、２，８６０㎡
１２月・飫肥公民館、新町河原にて移動消防学校機関科を開校
・消防団拠点施設（吾田分団第３部：木造二階建て）竣工
・小型動力ポンプＢ３級（酒谷分団第２部）を配備
昭和６１年　１月・消防訓練場用地（西弁分３筆２，６９４㎡：換地１，９８５㎡）取得
・サイレン無線制御装置（市内９カ所）完成
２月・２０㎥地下式防火水槽３基（山王、殿所、大窪）を設置
３月・小型動力ポンプ付積載車（細田分団第５部）を設置
４月・救急車（農協共済連から受贈）を配備
７月・可搬式散水装置（消防署：１セット５０個）を設置
・細田水防倉庫（細田分団第３部裏）竣工
・消防無線受令機（消防団車両：３セット６０個）を設置
８月・４０㎥地下式防火水槽（油津瀬西）を設置
９月・東郷分団第１部、飫肥出張所を改築
１０月・小型動力ポンプ付積載車（細田分団第３部、第６部）を配備
１１月・小型動力ポンプ（飫肥分団第４部、第５部）を配備
・消防ポンプ自動車ＢＤ－Ⅰ型（油津分団第１部）を配備
１２月・消防団拠点施設敷地（吾田分団第２部：１６２㎡）を購入
昭和６２年　２月・消防団拠点施設（吾田分団第２部）竣工
・２０㎥地下式防火水槽３基（福谷、吹毛井、上白木俣）を設置
・障害突破用訓練塔（消防署）を増設竣工
３月・ホース干台（酒谷分団第４部）を移転
・「竿頭綬（かんとうじゅ）」消防庁長官表彰
４月・吾田分団第２部と第５部を統合、７か分団３１か部に改編
９月・４０㎥防火水槽（前鶴）を設置
１０月・消防ポンプ自動車（飫肥分団第１部）を配備
１２月・救助工作車（消防署）を配備
昭和６３年　３月・４０㎥防火水槽３基（上隈谷、益安、伊比井）を設置
９月・消防団拠点施設敷地（吾田分団第１部）を購入
１１月・水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型（飫肥出張所）を配備
・小型動力ポンプ付積載車（東郷分団第２部）を配備

・指揮車（消防本部）を配備

１２月・消防団拠点施設（鵜戸分団第２部）増築

・４０㎥防火水槽（松原団地）を設置

・２０㎥防火水槽３基（宿ノ河内、向田、甲東）を設置

平成元年　３月・消防団拠点施設（吾田分団第１部）竣工

４月・吾田分団第１部と第６部を統合、７か分団３０か部に改編

７月・２７日深夜から２８日未明に来襲した台風１１号は、近年稀に見る大洪水となり、各河川はことごとく決壊、氾濫し、流域住宅の避難勧告の発動となった。１，８００名の避難にもかかわらず、職、団員の懸命な活動により、１名の人的被害を見なかったことは、高く評価され、住民の称賛するところであり、その功績を認められ宮崎県知事表彰を受賞

１０月・４０㎥防火水槽（向原）を設置

・２０㎥防火水槽３基（松永、隈谷、小布瀬）を設置

１１月・消防ポンプ自動車ＢＤ－Ⅰ型（鵜戸分団第３部）、小型動力ポンプ付積載車（飫肥分団第５部）、小型動力ポンプＢ３級（吾田分団第４部）を配備

１２月・消防団（細田分団第１部）格納庫を大幅増築し、コミニティーセンターとして竣工

平成２年　３月・消防訓練場並びに訓練塔（Ａ塔・Ｂ塔・Ｃ塔）竣工

・消防団拠点施設敷地（飫肥分団第５部：８０．８㎡）を購入

９月・１８日に１９号、２９日に２０号、１０月７日に２１号と台風が相次いで来襲し、大きな災害をもたらしたが、前年に培った教訓を充分発揮し、その功績を称えられ、前年度に引き続き、宮崎県知事表彰（消防団）を受賞

１０月・災害非常時の難聴地域解消のため、防災用サイレン（星倉地区）を設置

・４０㎥防火水槽（下方）を設置

・２０㎥防火水槽４基（中ノ八重、中隈谷、富土、石束）を設置

１１月・消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型（消防署）、小型動力ポンプ付積載車（東郷４部）を配備

平成３年　３月・消防団拠点施設（飫肥分団第５部）を増築

１０月・第７回婦人消防操法大会（横浜市：酒谷１０区婦人消防隊）に出場

・消防ポンプ自動車ＢＤ－Ⅰ型（酒谷分団第１部）、小型動力ポンプＢ３級（細田分団第７部）、小型動力ポンプ付積載車（東郷分団第３部、細田分団第４部）を配備

・４０㎥防火水槽（吾田大谷地区）を設置

・２０㎥防火水槽３基（東郷帰石、飫肥観音、酒谷片頭）を設置

・東郷分団第５部にコミュニティーセンターを竣工

平成４年　４月・北郷町の常備消防業務を受託

・消防吏員１１名採用条例定数を７１名に改正

５月・油津港にて宮崎県総合防災訓練を実施

９月・第２３回宮崎県消防操法大会（小型ポンプの部）「吾田分団優勝」

１０月・１４日、第１３回全国消防操法大会（横浜市：吾田分団）に出場

・消防ポンプ自動車ＢＤ－Ⅰ型（吾田分団第３部）、小型動力ポンプＢ３級（細田分団第６部、鵜戸分団第２部）、小型動力ポンプ付積載車（東郷分団第１部、鵜戸分団第１部）を配備

・消防団拠点施設（酒谷分団第１部：木造瓦葺二階建て）竣工

・消防団拠点施設（細田分団第７部：待機室）の改善

・４０㎥防火水槽２基（飫肥新町、細田狭間）を設置

平成５年　４月・消防吏員５名採用条例定数を７５名に改正

９月・台風１３号が、消防施設に多大の被害をもたらし、災害復旧事業で対応

・４０㎥防火水槽２基（飫肥大平、東郷田辺）を設置

・消防ポンプ自動車ＢＤ－Ⅰ型（東郷分団第５部）、小型動力ポンプＢ３級（細田分団第３部）、小型動力ポンプ付積載車（吾田分団第４部、飫肥分団第４部）を配備

・消防団拠点施設（細田分団第４部、酒谷分団第２部）の改善

平成６年　１月・高規格救急車を導入

４月・救急救命士国家試験（１名）合格日南第１号

８月・無線、広報器材（日本消防協会から受贈）を配備

１０月・消防団拠点施設（東郷分団第３部：待機室）の改善

・自家発電装置（消防署）を設置

・保安帽（全消防団員）を支給

１１月・救急救命士国家試験（１名）合格総計２名

・４０㎥防火水槽２基（訓練場、酒谷榎木田）を設置

・水槽付消防ポンプ車（油津出張所）小型動力ポンプＢ３級（細田分団第５部、鵜戸分団第１部）、小型動力ポンプ付積載車（飫肥分団第２部、細田分団第７部）を配備

平成７年　１月・１７日の午前５時４６分、淡路島北部沖の明石海峡を震源とする「平成７年（１９９５年）年兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）」が発生地震の規模を示すマグニチュードはＭ７．３、震度７を観測し、１月３１日～２月１０日の１１日間、給水支援のため５ｔ給水車で職員２名を応援派遣

４月・救急車（消防署：ＪＡ共済連から受贈）を配備

６月・油津港にて日南市総合防災訓練を実施

９月・アポロ帽（全消防団員）を支給

１１月・救急救命士国家試験（１名）合格総計３名

・放送設備一式（消防本部）を購入

平成８年　３月・日南市防災行政無線移動局、携帯局（消防団全車両３０台）を設置

・４０㎥防火水槽２基（松永、下限谷）を設置

・小型動力ポンプＢ３級（東郷分団第２部、酒谷分団第４部）、多目的資機材搬

送車（消防署：クレーン付２ｔトラック）を配備

・消防団拠点施設２棟（飫肥分団第２部、細田分団第６部：待機室）の改善

平成９年　３月・宮崎県市町村防災行政無線衛星局を設置

・４０㎥防火水槽２基（板敷、益安）を設置

・小型動力ポンプＢ３級（東郷分団第２部、酒谷分団第４部）、消防ポンプ車ＢＤ－Ⅰ（細田分団第１部）を配備

・消防団拠点施設２棟（東郷分団第２部、酒谷分団第４部：待機室）の改善

・消防団拠点施設（鵜戸分団第４部：ＲＣ造平屋建て）竣工

４月・救急救命士国家試験（１名）合格総計４名

平成１０年　３月・高規格救急車（消防署：安田生命保険相互会社から受贈）を配備

・４０㎥防火水槽（毛吉田）を設置

・小型動力ポンプＢ３級（飫肥分団第２部、吾田分団第１部）、消防ポンプ車ＢＤ－Ⅰ（吾田分団第２部）、小型動力ポンプ付積載車（吾田分団第１部、酒谷分団第２部）を配備

・消防団拠点施設（細団分団第３部：待機室）の改善

・消防団拠点施設（油津分団第１、第２部）竣工

・日南市消防署油津出張所（ＲＣ造平屋建て）竣工

５月・救急救命士国家試験（１名）合格総計５名

９月・２７日、日南市総合運動公園において、自治体消防制度５０周年記念事業の一環として日南市消防団活性化運動会を開催

平成１１年　３月・指揮広報車（消防本部：財団法人日本消防協会から受贈）を配備

・指揮車、化学消防ポンプ自動車Ⅲ型、小型動力ポンプＢ３級、船外機付救助用ゴムボート（消防本部・署）を配備

・小型動力ポンプＢ３級（東郷分団第３部）、小型動力ポンプ付積載車（鵜戸分団第２部、鵜戸分団第４部）を配備

・４０㎥防火水槽２基（塩鶴、川辺ヶ野）を設置

・西ノ村地区防災用サイレン（無線制御装置付）を設置

・消防団拠点施設（細田分団第５部：ＲＣ造平屋建て）竣工

平成１１年　５月・救急救命士国家試験（１名）合格総計６名

平成１２年　３月・空気充填室（消防署）完成

４月・水槽付消防ポンプ自動車（消防署：財団法人日本損害保険協会から受贈）を配備

・消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型（油津分団第２部）、小型動力ポンプ付積載車（酒谷分団第４部、細田分団第５部）、小型動力ポンプＢ３級（酒谷分団第２部）を配備

・船外機付救助用ゴムボート（消防署）を配備

・消防団拠点施設（東郷分団第１部：ＲＣ造平屋建て）竣工

・救急救命士国家試験（１名）合格総計７名

・４０㎥防火水槽２基（福谷、梅ヶ浜）を設置

７月・発電機及び投光器一式（飫肥分団、東郷分団、酒谷分団、鵜戸分団）を配備

８月・第２７回宮崎県消防操法大会（小型ポンプの部）「酒谷分団準優勝」

１０月・空気呼吸器（消防署：３体）を整備

１２月・消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型（消防署：４号車、飫肥分団第３部）、小型動力ポンプ付積載車（細田分団第３部、細田分団第６部）、小型動力ポンプＢ３級（飫肥分団第４部、第５部）を配備

平成１３年　３月・４０㎥防火水槽２基（富土、楠原）を設置

・消防団拠点施設（鵜戸分団第１部：ＲＣ造平屋建て）竣工

４月・消防団の現勢

分団 部	定員	実員	消防 ポンプ車	小型 ポ ン プ	積 載 車
７分団 ３０か部	７９８名	７９８名	１０台	２１台	２１台

・救急救命士国家試験合格（１名）総計８名

１０月・小型動力ポンプ付積載車Ｂ３級（東郷分団第２部、酒谷分団第３部）を配備

１２月・消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型（油津分団第１部）を配備

・林野火災用動力噴霧器一式（消防署）を配備

平成１４年　１月・消防ＯＡシステム（警防救急システム）導入

・消防指令室空調非常電源（消防署）設置

２月・小型動力ポンプ付水槽車Ⅱ型（消防署：２号車）を配備

３月・４０㎥防火水槽２基（種子田、上方）を設置

・消防団拠点施設（飫肥分団第４部：ＲＣ造平屋建て）竣工

４月・救急救命士国家試験（１名）合格総計９名

８月・エアーテント（消防署）を購入

１１月・消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型（飫肥分団第１部）、小型動力ポンプ付積載車（飫肥分団第５部、東郷分団第４部）を配備

平成１５年　３月・高規格救助工作車Ⅱ型（消防署）を配備

・消防団拠点施設（東郷分団第４部：耐火建物平屋建て）竣工

・防火水槽４０㎥２基（酒谷桜馬場、吾田隈谷団地）を設置

４月・消防団の現勢

分団 部	定員	実員	消防 ポンプ車	小型 ポ ン プ	積 載 車
７分団 ３０か部	７９８名	７９３名	１０台	２１台	２１台

５月・救急救命士国家試験（１名）合格総計１０名

９月・女性消防団員（１０名）入団式

１０月・２６日、王子製紙グラウンドにおいて、自治体消防制度５５周年記念事業の一環としてレクリエーション大会（運動会）を開催

１１月・救急救命士国家試験（１名）合格総計１１名

・高規格救急車（消防署：合計３台）を配備

１２月・消防団拠点施設（細田分団第７部：ＲＣ造平屋建て）竣工

・条例定数を７６名（県防災救急ヘリ派遣要員１名増員）に改正

平成１６年　３月・消防庁長官から優良消防団として表彰旗を拝受

・日本消防協会から優良消防団として表彰旗を拝受

・高機能消防指令センターの竣工

４月・消防職員２名（うち救急救命士１名、退職者１名、県防災救急ヘリ派遣要員１名）採用

・救急救命士総計１２名

・女性消防団員（５名）入団

・消防団の現勢

分団 部	定員	実員	消防 ポンプ車	小型 ポ ン プ	積 載 車
７分団 ３０か部	７９８名	７９８名	１１台	２１台	２１台

１０月・宮崎県防災救急航空隊要員を１名派遣

１２月・消防団拠点施設（酒谷分団第３部：ＲＣ造平屋建て）竣工

平成１７年　２月・消防団地域活動表彰（東京都）受賞

・宮崎県防災救急航空隊運用開始

３月・災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型（消防署）を配備

５月・救急救命士国家試験（１名）合格総計１３名

１１月・消防団拠点施設（鵜戸分団第３部：ＲＣ造平屋建て）竣工

平成１８年　２月・消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型（鵜戸分団第３部）を配備

４月・消防団の現勢

分団部	定員	実員	消防ポンプ車	小型ポンプ	積載車
７分団 ３０か部	７９８名	７９５名	１１台	２１台	２１台

・救急救命士国家試験（１名）合格総計１４名
８月・ＮＳ超強力ライト３０基（消防団：（株）中村消防防災から受贈）を配備
・救急救命士気管挿管認定証（１名）取得
平成１８年１０月・救急救命士薬剤投与認定証（１名）取得
平成１９年　３月・高規格救急車（消防署）を配備
５月・救急救命士気管挿管認定証（１名）取得
６月・救急救命士国家試験（１名）合格総計１５名
平成２０年　３月・消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型（消防署）を配備
４月・救急救命士国家試験（１名）合格総計１６名
１１月・高規格救急車（消防署）に配備

（２）＜旧北郷町＞

昭和２３年１０月・消防組織法施行に伴い、北郷村消防団設置条例が設定され新制度の消防団が発足
昭和２５年　１月・北郷中学校少年消防隊を発足
昭和２６年　３月・成績優秀により消防庁長官表彰旗を拝受
昭和３２年１０月・宮崎県操法大会（ポンプ車の部）:「優勝（１回目）」
３月・成績優秀により消防本部長章を受章
昭和３３年　２月・成績優秀により日本消防協会長表彰旗を拝受
１０月・宮崎県操法大会（ポンプ車の部）:「優勝（２回目）」
昭和３４年　１月・町制施行により北郷町消防団に改称
１０月・宮崎県操法大会（ポンプ車の部）:「優勝（３回目）」
昭和３６年　３月・成績優秀により消防庁長官表彰旗を拝受
昭和４７年　４月・救急業務を開始
昭和４８年　７月・北郷町消防団ラッパ隊を発足
昭和５０年　３月・北郷中学校、日本消防庁長官表彰を受章
・北郷中学校少年消防隊、表彰旗を拝受
昭和５２年　３月・消防庁舎竣工
平成４年　４月・旧日南市へ消防事務・救急業務委託
平成７年　４月・防災行政無線開局（Ｈ８年戸別受信機設置）
平成８年　３月・宮崎県消防大会（ラッパ隊）:「優勝（１回目）」

平成１３年１１月・平嶋元団長、消防功績により勲五等瑞宝章を受章
平成１５年　３月・宮崎県消防大会（ラッパ隊）:「優勝（２回目）」
平成１８年　５月・平良前団長、消防功績により瑞宝双光章を受章

（３）＜旧南郷町＞

明治４４年　・南郷村を４区域に分割
第１部目井津
第２部津屋野、谷之口、上中村
第３部潟上、脇本
第４部外浦、贄波
大正３年・村から消防法被、支給服装を配備
各組に腕用ポンプ１台を配備
大 正 ８ 年　・外浦地区で大火発生
昭 和 ４ 年　・手引ガソリンポンプ（第１部目井津、第４部外浦）を配備
昭 和 ５ 年　・婦人消防隊（第４部外浦）を結成
昭和１０年　・消防組員６００名（第５部栄松、第６部下中村）が発足手引ガソリンポンプ３台腕用ポンプ４台を配備
昭和１１年　・フォード三輪消防ポンプ（第１部目井津）を配置
昭和１２年　４月・防空法により防護団が結成され、従来の消防組と合併し、警防団が誕生
昭和１８年　・消防自動車（第１部目井津）を配備
手引ガソリンポンプ２台、腕用ポンプ５台を配備
昭和２３年　７月・消防組織法が施行、警防団が改組され自治体消防団が発足
・第７部（贄波）、第８部（津屋野、谷之口）が発足
・各部に消防後援会と町消防後援会が発足団員数７００名
昭和２５年　・可搬式小型動力ポンプが出現
昭和２８年　・消防自動車２台、小型動力ポンプ４台、腕用ポンプ７台を配備
昭和３０年　・消防自動車２台、小型動力ポンプ９台、腕用ポンプ２台を配備
・ポンプの動力化で常時出動可能な団員（定員は４５５名）を選出
昭和３１年　４月・榎原村との分村合併があり、榎原中講・下講を９部、上講を１０部、九州造船社宅を第１１部として編成（団員５５０名）
昭和３３年　・上水道の完成により目井津、下中村、栄松、外浦の住宅密集地に消火栓を設置
昭和４６年　・小型動力ポンプ２台、自動車ポンプ１台を配備
昭和４７年　・警鐘台（第３部大牟礼）を建設
・消防格納庫（第５部栄松：１０坪耐火構造）を新設
・盛夏服（新入団員全員）を貸与

昭和４８年　・第５部（栄松）と第１１部（九州造船社宅）を統合
・消防団定員３９５名
・小型ポンプ車（第２部上中村）を配備
・４０㎥防火水槽２基（第６部下中村）を設置
・消防格納庫（第８部谷之口：７．５坪耐火構造）を建設
・積載車（１０部上講）を配備

昭和４９年　・アルミックス製防火衣（消防団：小型ポンプ１台に付き２着、自動車ポンプ１台に付き４着の合計５０着）を貸与
・水防倉庫（谷之口と下講）を統合
・指揮車（消防団本部）を配備
・積載車（第５部栄松）を配備

昭和５０年　・小型動力ポンプ（第３部脇本格納庫：３８馬力）を配備
・小型積載車（消防団本部）を配備

昭和５１年　・積載車（第２部上中村）を配備及び格納庫を新設
・２０㎥防火水槽（第３部潟上下）を設置
・２０㎥防火水槽２基（第８部谷之口）を設置
・警鐘台兼ホース掛（第５部栄松）を設置

昭和５２年　・５０㎥有蓋防火水槽（第４部外浦）を設置
・４０㎥有蓋防火水槽（第８部津屋野）を設置
・２０㎥有蓋防火水槽（第９部榎原中講）を設置
・消防格納庫（第７部贄波：コンクリートブロック造）を新設

昭和５６年　・小型動力ポンプ（第３部潟上下、第９部下講）を更新
・４０㎥有蓋防火水槽（第２部上中村宮越地区）を設置

昭和５７年　・消防格納庫（第３部潟上下：コンクリートブロック造）を新設
・小型動力ポンプ車（第４部外浦）を配備
・４０㎥有蓋防火水槽（栄松保育所横）を設置

昭和５８年　・積載車（第３部潟上下）を配備
・小型動力ポンプ付き積載車（第８部津屋野：消防協会から受贈）を配備
・小型動力ポンプ付き積載車（３部潟上下・潟上中、１０部上講）を配備
・消防格納庫（第８部津屋野：コンクリートブロック造）を新設

昭和５９年　・消防格納庫（第９部下講：コンクリートブロック造）を新設
・小型動力ポンプ付き積載車（中央町）を更新
・小型動力ポンプ付き積載車（第３部潟上中）を更新
・４０㎥防火水槽（第３部潟上大久保団地）を設置

昭和６０年　・小型動力ポンプ付き軽積載車（県内初：１部目井津地区）を配備
・積載車（第９部下講）を配備
・消防防災無線（移動系）を設置
・２０㎥防火水槽（第９部下講）を設置

昭和６１年　　・小型動力ポンプ車（第５部栄松、第７部贄波）を配備
・小型動力ポンプ車（団本部：日本損害保険協会から受贈）を配備
・消防格納庫（第３部脇本：コンクリートブロック造）を新設
・２０㎥防火水槽（第８部谷之口）を設置
・指揮車（団本部）を更新
昭和６３年　　・幼年消防クラブ発足
平成元年　　・消防団を分団制に改組し、３分団制による活動を開始

（４）＜新日南市＞

平成２１年　３月・日南市、北郷町、南郷町が合併し、新日南市誕生
４月・消防団の現勢

分団 部	定員	実員	消防 ポンプ車	小型動力 ポンプ付積載車
１４分団 ５４か部	１，４０６名	１,３８８名	１９台	４１台

平成２２年　１月・防火水槽（北郷山仮屋区）を設置
２月・消防団拠点施設（南郷第１分団第５部：平屋建て）竣工
３月・水槽付消防ポンプ自動車（飫肥出張所：南郷出張所予定分）を配備
・小型動力ポンプ付積載車（南郷第３分団脇本区、大牟礼区、南郷第２分団上講区）を配備
・小型動力ポンプ付軽積載車（南郷第３分団大迫区、第２分団札之尾区）を配備
４月・宮崎県防災救急航空隊要員を１名派遣
・救急救命士国家試験（１名）合格総計１７名
・消防吏員９名採用（うち救急救命士３名）
・総員８４名（うち救急救命士２０名）条例定数８６名
１０月・消防団拠点施設（鵜戸分団第２部）格納庫増設
平成２３年　３月・消防ポンプ自動車（酒谷１部）、小型動力ポンプ付積載車（東郷３部、細田４部）、水槽付消防ポンプ車（鵜戸分団、酒谷分団）を配備
・１１日の１４時４６分、太平洋三陸沖を震源とする「平成２３年（２０１１年）東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）」が発生、地震の規模を示すマグニチュードはＭ９．０、最大震度７を観測した、日本の観測史上最大規模の地震
・緊急消防援助隊発動により職員３名（３号車：岩手県陸前高田市）を派遣
・消防団拠点施設（酒谷分団第２部：平屋建て）竣工

・飫肥・油津出張所を廃止し、同地区に消火栓ボックス９２カ所を設置
・南郷第１分団第１２部を廃部
４月・北郷出張所新築開設（事業費１４５百万円）、南郷出張所改築開設（事業費４５百万円）両出張所にそれぞれ水槽付消防ポンプ車・高規格救急自動車を配備
・消防吏員２名採用
・救急救命士国家試験（１名）合格総計２１名
１０月・全国女性消防操法大会（横浜市）出場
１２月・消防ポンプ自動車（吾田分団第３部）を配備
平成２４年　１月・小型動力ポンプ付積載車（鵜戸分団第１部、東郷分団第１部）を配備
３月・小型動力ポンプ付積載車（南郷２部）、資材運搬車（消防署：８号車）を配備
・消防団拠点施設（南郷分団第１１部）竣工
４月・救急救命士国家試験（１名）合格総計２２名
・宮崎県ドクターヘリ運用開始
１２月・小型動力ポンプ付積載車（飫肥分団第４部、吾田分団第４部、南郷第２分団第９部、南郷第３分団第７部）を配備
平成２５年　３月・消防団拠点施設（飫肥分団第５部）竣工
・新消防庁舎（日南振徳商業高等学校跡地）建設着工
・消防救急拠点施設通信指令システム（高機能消防指令センター及び消防救急デジタル無線）整備事業着手
・救急救命士国家試験（１名）合格総計２３名
・北郷第２分団第１１部を廃部
４月・宮崎県防災救急航空隊要員を１名派遣
１１月・小型動力ポンプ付積載車（榎原分団第３部）を配備
平成２６年　１月・４０㎥防火水槽（北郷：田代地区）を設置
３月・日南市消防団車両再編計画策定
・酒谷分団第３部と第４部を統合
・北郷第３分団と第４分団を統合
・上講と札之尾（南郷第２分団第１０部）を統合
・和田と脇本（南郷第３分団第３部）を統合
・大迫と大牟礼（南郷第３分団第３部）を統合
・贄波と夫婦浦（南郷第３分団第７部）を統合
・救急救命士国家試験（１名）合格総計２４名
・新消防庁舎竣工
日南市大字殿所２０２６番地９（敷地面積：１１，３６９．０７㎡）
庁 舎 棟：鉄筋コンクリート一部鉄骨造、２階建、３，１３６．０７㎡
主訓練棟：鉄筋コンクリート造、５階建、５５０．３０㎡
副訓練棟：鉄骨造、３階建、８１．４８㎡

４月・新消防庁舎及び常備消防救急デジタル無線運用開始
・消防吏員１名（退職者１名）採用
・宮崎県ドクターカー運用開始
１１月・小型動力ポンプ付積載車（北郷大藤分団第１部、飫肥分団第２部、細田分団第７部）を配備
・消防ポンプ自動車（消防署）を配備
１２月・消防ポンプ自動車（東郷分団第５部）を配備
平成２７年　２月・化学消防ポンプ自動車（消防署）を配備
・消防ポンプ自動車（細田分団第１部：国無償貸付車）を配備
３月・消防団拠点施設（南郷潟上分団第３部）竣工
・救命士国家試験（１名）合格総計２４名
４月・消防吏員２名（退職者２名）採用
平成２８年　２月・高規格救急車（消防署）を配備
３月・救命士国家試験（１名）合格総計２６名
４月・緊急消防援助隊派遣（熊本地震）熊本県益城町ほか４／１４～４／２６救急車１台（３名）×４次派遣
７月・ＡＥＤ（市内のコンビニエンスストア２０店舗）を設置
１２月・小型動力ポンプ付積載車（北郷郷之原分団第２部）を配備
平成２９年　２月・消防救急デジタル無線機７０基（消防団）を配備
・消防ポンプ自動車（北郷郷之原分団第３部）を配備
３月・軽デッキバン小型ポンプ付積載車（日南初：北郷北河内分団第３部）を配備
・消防団拠点施設（東郷分団第２部：松永）竣工
・救命士国家試験（１名）合格総計２７名
７月・緊急消防援助隊派遣（九州北部豪雨災害）大分県中津市ほか７／５～７／１１救急車１台（４名）×２次派遣
８月・消防団拠点施設（細田分団第１部：大堂津）竣工　※大堂津避難タワーとの複合施設
１２月・小型動力ポンプ付積載車（吾田分団第１部、吾田分団第２部、酒谷分団第２部、南郷中央分団第１部）を配備
平成３０年　３月・救命士国家試験（１名）合格総計２８名
１１月・消防団拠点施設（榎原分団第４部：榎原丙）竣工
平成３１年　３月・救命士国家試験（１名）合格総計２９名
・消防ポンプ自動車（北郷大藤分団第２部）を配備
・小型動力ポンプ付積載車（鵜戸分団第４部）を配備
４月・消防吏員５名（退職者４名）採用
１１月・救急普及啓発広報車（消防署）を救急振興財団から寄贈配備
令 和 ２ 年　１月・救助用資機材搭載型小型動力ポンプ自動車（油津分団第２部）を総務省消防庁から無償貸与配備

２月・防災学習指導車（消防署）を日本消防協会から寄贈配備

３月・小型動力ポンプ付水槽車（５ｔ）（消防署）を配備

・救命士国家試験（１名）合格総計３０名

４月・消防吏員１名（退職者２名）採用

・消防団の現勢

分団 部	定員	実員	消防 ポンプ車	小型動力 ポンプ付積載車
１３分団 ４９か部	１，０８０名	１，０６１名	１３台	３６台

・機能別団員を創設

・北郷北河内分団第３部と第４部を統合

・榎原分団第１部と第３部を統合

・小型動力ポンプ付積載車（細田分団第５部）（細田分団第６部）を配備

７月・緊急消防援助隊派遣（熊本豪雨）熊本県人吉市ほか７／４～７／１０タンク車（４名）１・２次派遣７／１０～７／１３救急車（３名）３次派遣

１２月・小型動力ポンプ付積載車（飫肥分団第３部）を配備

令 和 ３ 年　１月・査察車（消防署）を配備

・ドローン隊（愛称：Ｗｈｉｔｅ－ｅｙｅ．Ｎｉｃｈｉｎａｎ）を発足

３月・消防ポンプ自動車（油津分団第１部）を配備

・救助工作車（消防署）を配備

・救命士国家試験（１名）合格総計３１名

・消防吏員退職者２名

４月・消防吏員４名（うち救命士１名）採用救命士総計３２名

令 和 ４ 年　２月・高規格救急車を南郷出張所へ配備

３月・救命士国家試験（１名）合格総計３３名（２名は出向中）

・軽四輪駆動小型ポンプ付積載車（酒谷第３部）を配備

・小型動力ポンプ付き積載車（東郷第２部）を配備

・消防吏員退職者４名

４月・消防吏員３名採用（定数外）

・消防団の現勢

分団 部	定員	実員	消防 ポンプ車	小型動力 ポンプ付積載車
１３分団 ４９か部	１，０８０名	９８０名	１３台	３６台

令 和 ４ 年　１０月・災害用ドローン　Mavic２　Enterprice　Advance　Plus を導入

１１月・大藤河川敷にて県防災訓練

令 和 ５ 年　　３月・救急救命士国家試験合格総計３４名

・消防ポンプ自動車（飫肥第１部）を配備

・小型動力ポンプ付き積載車（東郷第４部）を配備

・高規格救急自動車　救急４号車を本署へ配備

４月・消防吏員３名採用（定数外）

・消防団の現勢

分団 部	定員	実員	消防 ポンプ車	小型動力 ポンプ付積載車
１３分団 ４９か部	１，０８０名	９５４名	１３台	３６台

令 和 ６ 年　３月・救急救命士国家試験合格総計３５名

・消防吏員退職者３名定年延長４名

４月・消防吏員３名採用（定数外）

・消防団の現勢

分団 部	定員	実員	消防 ポンプ車	小型動力 ポンプ付積載車
１３分団 ４９か部	１，０３６名	９７３名	１３台	３６台

6　消防本部・消防署・出張所の位置・構造

名　　称	所　　在　　地	構　　造	面 積（㎡）	竣工年月
消　防　庁　舎	日南市大字殿所 2026番地9	鉄筋コンクリート 一部鉄骨造２階建	3,136.07	H26. 4
主　訓　練　棟		鉄筋コンクリート造　５階建	550.30	H26. 4
副　訓　練　棟		鉄骨造　３階建敷地面積 11,369㎡	81.48	H26. 4
北 郷 出 張 所	日南市北郷町郷之原乙 1608番地	敷地面積 3,336.68㎡	476.00	H23. 3
南 郷 出 張 所	日南市南郷町南町 8番地2	敷地面積 3,868.25㎡	999.20	H23. 3

7　歴代消防長

就任・退任年月日	氏　　名	就任・退任年月日	氏　　名
S25. 4.19～S26. 8.23	鈴　木　義　文	H 3. 4. 1～H 6. 3.31	長　尾　宗　明
S26. 8.24～S26.10. 5	赤　星　　寛＊	H 6. 4. 1～H 9. 3.31	中　村　幸　次
S26.10. 6～S29. 6. 1	松　藤　良　三	H 9. 4. 1～H12. 3.31	金　丸　　勇
S29. 6. 2～S29. 6.16	添　田　三次郎	H12. 4. 1～H14. 3.31	門　分　政　男
S29. 6.17～S30.10.10	安　藤　正　人	H14. 4. 1～H16. 3.31	川　﨑　寿　郎
S30.10.11～S41. 6.30	野　辺　　進	H16. 4. 1～H19. 3.31	井　田　正　則
S41. 7. 1～S45. 3.31	村　上　義　信＊	H19. 4. 1～H22. 3.31	福　山　敏　夫
S45. 4. 1～S46. 3.31	池　田　三　郎＊	H22. 4. 1～H24. 3.31	村　田　豊　年
S46. 4. 1～S47. 3.31	平　賀　祐　憲	H24. 4. 1～H27. 3.31	柳　沼　平八郎
S47. 4. 1～S52. 3.31	村　上　義　信	H27. 4. 1～H31. 3.31	釋迦野　明　生
S52. 4. 1～S54. 2. 1	川　邊　　昇	H31. 4. 1～R 2. 3.31	田　中　謙　一
S54. 2. 2～S54. 3.31	河　野　禮三郎＊	R 2. 4. 1～R 4. 3.31	安　樂　英　二
S54. 4. 1～S61. 3.31	谷　崎　　清	R 4. 4. 1～R 6. 3.31	斎　藤　　宏
S61. 4. 1～H元. 3.31	石　井　一　徳	R 6. 4. 1～現在	藤　井　和　巳
H元. 4. 1～H 3. 3.31	小　玉　吉　春		

＊印は事務取り扱い兼任

8　日南市歴代消防団長

就任・退任年月日	氏　　名	就任・退任年月日	氏　　名
S25. 4. 1～S27. 2.20	細　田　　実	H 8. 4. 1～H16.10.31	影　山　一　雄
S27. 4.21～S46. 1.11	竹　田　末　義	H16.11. 1～H22. 3.31	久　島　祥　敬
S46. 4. 1～S47. 3.31	平　部　典　俊	H22. 4. 1～H26. 3.31	濱　中　武　紀
S47. 4. 1～S53. 3.31	高　橋　義　夫	H26. 4. 1～R 2. 3.31	黒　木　新　一
S53. 4. 1～S63. 3.31	中　島　俊　一	R 2. 4. 1～R 6. 3.31	谷　口　慎　二
S63. 4. 1～H 8. 3.31	羽　藤　芳　信	R 6. 4. 1～現在	日　髙　雅　夫

9　旧北郷町歴代消防団長

就任・退任年月日	氏　　名	就任・退任年月日	氏　　名
S23.10. 1～S48. 3.31	伊　東　武　信	H 6. 2.12～H13. 3.31	平　嶋　義　憲
S48. 4. 1～S61. 3.31	加　藤　源　二	H13. 4. 1～H17. 3.31	平　良　好　照
S61. 4. 1～H 5.12.20	黒　木　武　二	H17. 4. 1～H21. 3.29	荒　武　正　行

10　旧南郷町歴代消防団長

就任・退任年月日	氏　　名	就任・退任年月日	氏　　名
S 3. 9. 1～S 5. 3.31	崎　村　　俊	S31. 9. 1～S36. 3.31	中　村　欣　一
S 5. 4. 1～S12. 3.31	古　澤　美　水	S36. 4. 1～H 3. 3.31	畑　田　良　明
S12. 4. 1～S23. 1.31	河　野　宇　市	H 3. 4. 1～H 7. 3.31	松　尾　博　行
S23. 2. 1～S23. 8.31	高　橋　萬　二	H 7. 4. 1～H15. 3.31	松　田　謙一郎
S23. 9. 1～S26. 8.31	日　高　嘉　正	H15. 4. 1～H21. 3.29	沼　村　國　勝
S26. 9. 1～S31. 8.31	倉　尾　　昇		

組　織

１　消防力の整備指針と当市の現況

（令和６年４月１日現在）

		基準数	現有数	不足数	比　率（%）
施設	指　揮　車	1	1	0	１００
	署　所	3	3	0	１００
	消防ポンプ自動車	5	4	1	８０
	はしご自動車	1	0	1	0
	化学消防車	2	1＋（1） ＊1	0	１００
	救急自動車	4	4	0	１００
	救助工作車	1	1	0	１００

			総　数
人員	基準台数に対する人員の基準数（人）	①	８７
	現有台数に対する人員の基準数（人）		６４
	通信員の基準数（人）	②	１２
	予防要員の基準数（人）	③	１４
	庶務の処理等の人員（人）	④	6
	現有人員数（人）	⑤	８３
	不足人員数（人）	(①+②+③+④) −⑤	３６
	比　率（%）	⑤／(①+②+③+④) ×　１００	６９．７%

＊１　化学消防車に読み代えて配備する消防ポンプ自動車を（　）内に記載

２　消防本部・消防署の組織

３　消防本部・消防署の事務分掌

総務課

総務係

1　総務課の総括に関すること
2　消防本部内の総合調整に関すること
3　消防職員委員会に関すること
4　公印の管理に関すること
5　消防団組織の改編に関すること
6　人事及び組織に関すること
7　消防の総合計画及び調整に関すること
8　条例、規則に関すること
9　本部及び署内の予算編成及び決算に関すること
10　消防長会関係事務に関すること
11　消防職員の公務災害並びに賞じゅつ金に関すること
12　消防職員及び消防団員の貸与品に関すること
13　本部及び署内の予算執行に関すること
14　職員の給与、勤務時間、休日、休暇その他勤務条件に関すること
15　職員の衛生管理及び福利厚生に関すること
16　本部及び署内の庶務に関すること
17　庁舎及び備品の財産管理並びに処分に関すること
18　消防団の運営に関すること
19　消防団施設に関すること
20　消防出初式に関すること
21　消防団の訓練に関すること
22　消防団本部会計に関すること
23　消防団員の公務災害並びに賞じゅつ金に関すること
24　消防職員及び消防団員の表彰に関すること
25　消防団員の福利厚生に関すること
26　宮崎県消防協会南那珂支部の事務に関すること

警防課

警防係

1　警防課の総括及び関係各課との連絡調整に関すること
2　所属職員の指揮監督に関すること
3　消防本部車両納入計画及び消防団車両の再編に関すること
4　水火災の警戒防ぎょに関すること
5　自主防災組織に関すること
6　行方不明者等の捜索に関すること
7　予算編成及び執行に関すること
8　予算・決算に関すること
9　補助事業に関すること
10　救急研修及び指導体制に関すること
11　メディカルコントロールに関すること
12　ドローン隊に関すること
13　消防施設器材整備（救急資器材）に関すること
14　消防施設器材整備（救助資器材）に関すること
15　消防本部車両及び機械器具に関すること
16　消防団車両及び機械器具に関すること
17　国県補助金等に関すること
18　備品管理に関すること
19　各種訓練に関すること
20　救助指導会に関すること
21　緊急消防援助隊に関すること
22　消防水利等に関すること
23　水門・陸こう等に関すること
24　救急業務（救急法指導、各種調査）に関すること
25　救命率向上 AED 設置事業に関すること
26　ファイリングに関すること

指令係

1　係の統括に関すること
2　各課及び署の調整事項に関すること
3　指令係の定員管理に関すること
4　事務事業進行管理に関すること
5　予算編成及び執行に関すること
6　指令台及びデジタル無線保守等、他契約全般に関すること
7　各種調査報告に関すること
8　各種訓練に関すること
9　備品管理に関すること
10　住基調査・支援情報更新に関すること
11　防災行政無線業務に関すること
12　消防年報に関すること
13　ファイリングに関すること
14　消防指令業務の共同運用に関すること
15　指令台増幅（Ｎｅｔ１１９）導入に関すること
16　プリンター管理に関すること
17　無線免許申請・変更に関すること
18　災害時要援護者登録制に関すること
19　ホームページに関すること

予防課

予防係

1　予防課の総括に関すること
2　火災原因及び損害調査に関すること
3　火災統計及び損害調査に関すること
4　火災予防条例の改正に関すること
5　火災予防及び広報に関すること
6　予防統計に関すること
7　り災証明に関すること
8　住宅用火災警報器の設置促進に関すること
9　防火対象物及び危険物施設の査察計画に関すること
10　建築物等の防火及び予防規制に関すること
11　建築同意に関すること
12　消防用設備等の指導及び検査に関すること
13　違反処理及び違反処理是正の指導に関すること
14　枯草調査に関すること
15　危険物の規制及び指導に関すること
16　危険物取扱者試験前講習及び保安講習に関すること
17　油流出調査に関すること
18　煙火消費許可及び立入検査に関すること
19　幼少年消防クラブに関すること

消防署

1　消防署の総括に関すること
2　署内の総合調整に関すること
3　緊急消防援助隊に関すること
4　中隊の総括に関すること
5　中隊内の総合調整に関すること
6　総合訓練等の計画及び実施に関すること
7　署内の勤務編成に関すること
8　警防活動に関すること
9　諸災害の調査に関すること
10　消防署の庶務に関すること
11　災害の警備及び予防に関すること
12　消防訓練及び指導等に関すること
13　消防施設及び機械器具の維持管理に関すること
14　消防活動計画に関すること
15　予防及び立入検査に関すること
16　消防水利及び陸こう・水門の維持管理に関すること
17　出動に関すること
18　救急業務及び統計に関すること
19　救急訓練等に関すること
20　救急法指導に関すること
21　救急施設及び機械器具の維持管理に関すること
22　メディカルコントロールに関すること
23　夜間特殊勤務に関すること
24　救助業務及び統計に関すること
25　救助訓練等に関すること
26　救助施設及び機械器具の維持管理に関すること
27　救助技術指導会に関すること
28　時間外勤務に関すること
29　出張所業務に関すること
30　その他署長が命令する事項に関すること

4　消防団の組織

※　機能別団員を含む

５　消防職員の配置(定数外３名、出向３名含む)

（令和６年　４月　１日現在）

区分 階級	内訳						計
	消防本部	消防本部 指令係	本署	北郷出張所	南郷出張所	出向	
消防司令長	1						1
消防司令	3		1				4
消防司令補	8	7	17	4	4	3	43
消防士長		4	9	4	2		19
消防士		2	13		4	3	19
専門主事	1						1
計	13	13	40	8	10	6	90

６　消防職員の勤続年数

（令和６年　４月　１日現在）

階級 区分	消防士	消防士長	消防司令補	消防司令	消防司令長	専門主事	計
5年未満	14						14
5年以上10年未満	8	3					11
10年以上15年未満		8	7				15
15年以上20年未満		1	3				4
20年以上25年未満		1	10				11
25年以上30年未満			6				6
30年以上		6	17	4	1	1	29
合計	22	19	43	4	1	1	90

7 消防職員の年齢

（令和6年 4月 1日現在）

区分＼階級	消防士	消防士長	消防司令補	消防司令	消防司令長	専門主事	計
18歳 ～ 25歳	18	0	0	0	0	0	18
26歳 ～ 30歳	3	4	0	0	0	0	7
31歳 ～ 35歳	1	5	3	0	0	0	9
36歳 ～ 40歳	0	4	8	0	0	0	12
41歳 ～ 45歳	0	0	9	0	0	0	9
46歳 ～ 50歳	0	1	12	0	0	0	13
51歳 ～ 55歳	0	4	4	2	0	0	10
56歳 以 上	0	1	7	2	1	1	12
合　　計	22	19	43	4	1	1	90

8 消防職員の特殊技能資格取得状況

（令和6年 4月 1日現在）

区分	合　計
大型自動車免許	73
中型自動車免許	14
普通自動車免許	90
救急救命士免許	34
指導救命士	3
衛生管理者	3
特殊無線技師	80
小型移動式クレーン	61
玉掛け	71
小型船舶操縦士	42
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	37
二等無人航空機操縦士	9
予防技術検定（防火対象物）	35
予防技術検定（設備）	10
予防技術検定（危険物）	11

9　消防団員の年齢別構成

年齢別	18～20	21～25	26～30	31～35	36～40	41～45	46～50	51～55	56以上	平　均 年　齢
団員数	3	28	65	109	134	184	150	115	185	45

10　消防団員の定数と実員

		団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計 （人）	機能別
定　　数		1	4	13	26	49	220	767	1,036	50
実　　員		1	3	13	26	49	215	622	929	44
内訳	団 本 部	1	3						4	
	飫肥分団			1	2	5	22	60	90	
	吾田分団			1	2	4	18	66	91	
	油津分団			1	2	2	10	29	44	
	東郷分団			1	2	5	24	67	99	
	細田分団			1	2	6	24	66	99	10
	鵜戸分団			1	2	4	17	33	57	8
	酒谷分団			1	2	3	10	27	43	8
	北郷大藤分団			1	2	3	14	30	50	
	北郷郷之原分団			1	2	3	14	30	50	
	北郷北河内分団			1	2	3	14	37	57	9
	南郷中央分団			1	2	3	14	58	78	
	榎原分団			1	2	4	18	60	85	9
	潟上分団			1	2	3	14	42	62	
	女性部					1	2	17	20	

11　消防団員報酬

	定員	年額報酬	総額	その他手当
団長	1	160,000	160,000	出動報酬（１回）
副団長	3	120,000	360,000	４時間未満　一人 2,000円
分団長	13	104,000	1,352,000	４時間以上　一人 4,000円
副分団長	26	68,000	1,768,000	７時間４５分以上　一人 8,000円
部長	49	58,000	2,842,000	その他団長が認める業務
班長	215	37,000	7,955,000	（一回）　一人 2,000円
団員	622	36,500	22,703,000	
計	929		37,140,000	

予　算

1　令和６年度消防予算の対前年比

歳　入　　（単位：千円）

科　　目	令和６年度 当初予算額	令和５年度 当初予算額	比　較
使用料及び手数料	975	1,166	△ 191
国県支出金	1,000	3,051	△ 2,051
雑　　入	37,915	38,843	△ 928
市　　債	269,700	60,400	209,300
計	309,590	103,460	206,130

歳　出　　（単位：千円）

目	節	令和６年度 当初予算額	令和５年度 当初予算額	比　較
常備消防費	給　　料	318,941	328,097	△ 9,156
	職員手当等	214,207	212,501	1,706
	共　済　費	110,077	115,957	△ 5,880
	報　償　費	61	61	0
	旅　　費	3,974	3,721	253
	需　用　費	27,574	28,182	△ 608
	役　務　費	10,696	9,920	776
	委　託　料	12,812	13,970	△ 1,158
	使用料及び賃借料	1,092	1,070	22
	備品購入費	3,505	0	3505
	負担金補助及び交付金	5,106	5,959	△ 853
	公　課　費	628	333	295
	計	708,673	719,771	△ 11098
非常備消防費	報　　酬	60,803	63,854	△ 3051
	共　済　費	21,078	23,061	△ 1983
	災害補償費	2,127	2,127	0
	報　償　費	29,163	29,591	△ 428
	旅　　費	762	620	142
	需　用　費	8,672	13,325	△ 4653
	役　務　費	2,780	2,866	△ 86
	委　託　料	53	53	0
	使用料及び賃借料	2,639	2,167	472
	備品購入費	1,980	0	1980
	負担金補助及び交付金	6,897	6,666	231
	公　課　費	906	818	88
	計	137,860	145,148	△ 7,288

歳　出　　（単位：千円）

目	節	令和６年度 当初予算額	令和５年度 当初予算額	比　較
消防施設費	需用費	8,392	7,965	427
	役務費	75	66	9
	委託料	17,000	0	17,000
	工事請負費	0	25,000	△ 25,000
	備品購入費	123,067	64,211	58,856
	負担金補助及び交付金	0	8,879	△ 8879
	公課費	132	99	33
	計	148,666	106,220	42,446
水防費	需用費	707	693	14
	委託料	1,649	1,617	32
	計	2,356	2,310	46
災害対策費	報酬	2,393	2,190	203
	給料	2,993	2,972	21
	職員手当等	4,137	3,941	196
	共済費	1,452	1,277	175
	報償費	54	54	0
	旅費	256	260	△ 4
	需用費	30,894	12,266	18628
	役務費	6,661	5,676	985
	委託料	17,738	21,068	△ 3,330
	使用料及び賃借料	910	3,057	△ 2147
	工事請負費	134,782		134,782
	備品購入費	0	3,407	△ 3,407
	負担金補助及び交付金	6,185	8,715	△ 2,530
	計	208,455	64,883	143,572
合計		1,206,010	1,038,332	167,678

２　一般会計に対する消防費の比率（当初予算）

（単位：千円）

年度	一　般　会　計	消　　防　　費	比　　率	備　　考
H20	16,170,000	710,876	4.40%	
21	8,940,000	291,454	3.26%	暫定予算
22	26,170,000	1,255,409	4.80%	
23	25,680,000	926,958	3.61%	
24	26,040,000	1,042,779	4.00%	
25	25,230,000	1,808,317	7.17%	
26	26,710,000	1,035,184	3.88%	
27	26,110,000	976,613	3.74%	
28	27,190,000	984,991	3.62%	
29	24,970,000	1,041,568	4.17%	
30	25,360,000	1,006,958	3.97%	
R元	26,000,000	1,308,056	5.03%	
2	27,430,000	1,875,697	6.84%	
3	29,020,000	1,002,599	3.45%	
4	33,500,000	1,135,500	3.39%	
5	31,490,000	1,038,332	3.30%	
6	31,720,000	1,206,010	4%	

３　消防費に対する人口及び世帯の負担比較

年度	消　防　費　（千円）	人　　口	１人当負担額（円）	世　　帯	1世帯当負担額（円）	備　　考
H20	710,876	60,250	11,799	23,630	30,084	
21	暫定予算のため比較不可					
22	1,255,409	57,406	21,868	23,723	52,919	
23	926,958	56,759	16,331	23,153	40,036	
24	1,042,779	56,505	18,455	23,413	44,538	
25	1,808,317	55,691	32,470	23,343	77,467	
26	1,035,184	56,829	18,216	23,255	44,514	
27	976,613	54,230	18,009	23,162	42,164	
28	984,991	53,452	18,428	22,473	43,830	
29	1,041,568	52,735	19,751	22,489	46,315	
30	1,006,958	51,959	19,380	22,375	45,004	
R元	1,308,056	51,290	25,503	22,303	58,649	
2	1,875,697	50,418	37,203	22,122	84,789	
3	1,002,599	51,878	19,326	26,473	37,872	
4	1,135,500	49,702	22,846	21,669	52,402	
5	1,038,332	48,290	21,502	21,518	48,254	
6	1,206,010	48,652	24,788	25,903	46,558	

救急・救助

1　令和５年中の救急概要

令和５年中の救急活動状況は、出場件数が 2,984 件で前年より 277 件の増加となりました。

管轄内区別では、本署 2,027 件（前年比＋200 件)、北郷 344 件（＋54 件)、南郷 613 件（＋23 件）の出場となっており、1 日約 8 件の割合で救急隊が出場していることになります。

搬送人員は 2,287 人で前年より 47 人の増加となり、管内住民 49,546 人（令和５年 4 月 1 日現在）の約 21 人に 1 人が救急隊によって搬送されたことになります。

また、平成 24 年４月 18 日から宮崎県ドクターヘリの運航が始まり、当市への令和５年の出動件数は 36 件で、現場出場が 23 件、病院間の転院搬送が 13 件でした。

（１）　事故種別の出場状況（前年比）

出場件数 2,984 件のうち急病によるものが最も多く、1,997 件（＋236 件)、次いで一般負傷 426 件（-15 件）転院搬送 310 件（＋31 件)、の順となっており、救急事故 11 種別中に急病、一般負傷、転院搬送の割合が全体の 92%を占めています。

（２）　年齢区分別搬送人員

医療機関搬送人員 2,287 人のうち新生児 2 人、乳幼児 39 人、少年 62 人、成人 529 人、高齢者 1,655 人の搬送となっており、高齢者の搬送が全体の 72%を占めています。

（３）　医療機関別搬送人員

全体で 2,287 人の救急患者を医療機関へ搬送していますが、このうち 2,086 人（91%）を管内医療機関へ搬送しています。

（４）　転院搬送出場状況

出場 2,984 件のうち 310 件（10%）が転院搬送件数で、転院搬送については、ほとんどが専門医療機関への転院となっています。

（５）応急手当講習状況

救急業務において、傷病者の救命率の向上を図るには、救急隊員の応急処置技術の向上及び救急資機材等の有効な活用とともに、救急現場に居合わせた家族（バイスタンダー）などの的確な応急手当は不可欠であり、このため住民に対する、応急手当の普及啓発を図ることは極めて重要で、平成 7 年から規則を制定し普及啓発活動を実施しています。

令和５年度に実施した救命入門コースは 67 回、受講者数は 1,268 人、普通救命講習は 16 回、受講者数は 275 人です。

今年もコロナ感染予防対策で講習会を自粛したことにより、受講者が約半数に減少しました。

2　令和５年月別救急出場状況

（１）管内全体

月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
月別出場件数		**321**	**213**	**201**	**234**	**260**	**240**	**237**	**270**	**262**	**256**	**232**	**258**
搬送人員		**237**	**146**	**158**	**184**	**200**	**181**	**180**	**212**	**191**	**213**	**183**	**202**
本署	出場件数	229	161	134	169	172	170	155	181	178	167	167	189
	搬送人員	165	105	103	130	133	126	116	145	124	130	125	148
北郷	出場件数	22	16	25	13	36	30	27	28	27	27	22	20
	搬送人員	16	11	20	9	20	22	16	18	16	28	19	13
南郷	出場件数	70	36	42	52	52	40	55	60	57	62	43	49
	搬送人員	56	30	35	45	47	33	48	49	51	55	39	41

	区　分	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
累計	出場件数	2,984			2	140	46	22	426	6	26	1,997	319
	不搬送	697			1	26	7	1	84	4	16	550	8
	搬送人員	2,287			1	114	39	21	342	2	10	1,447	311
傷病別	死　亡	58					2		4		2	49	1
	重　症	364				6	1	1	68		1	174	113
	中等症	848				31	15	3	100		4	528	167
	軽　症	1,017			1	77	21	17	170	2	3	696	30
	その他												

（２）本署管内

	区　分	合計	火 災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
日南	出場件数	2,072			2	100	33	19	290	6	18	1,384	220
	不 搬 送	522			1	21	5	1	60	4	11	415	4
	搬送人員	1,550			1	79	28	18	230	2	7	969	216
傷病別	死　亡	44					2		2		1	38	1
	重　症	246				4		1	47		1	111	82
	中 等 症	548				22	9	2	67		2	335	111
	軽　症	712			1	53	17	15	114	2	3	485	22
	そ の 他												

（３）北郷出張所管内

	区　分	合計	火 災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
北郷	出場件数	293				15	6	2	41		2	220	7
	不 搬 送	85					2		12		2	67	2
	搬送人員	208				15	4	2	29			153	5
傷病者	死　亡	5							1			4	
	重　症	18				1			4			13	
	中 等 症	82				5	1	1	11			62	2
	軽　症	103				9	3	1	13			74	3
	そ の 他												

（４）南郷出張所管内

	区　分	合計	火 災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
南郷	出場件数	618				25	7	1	94		6	393	92
	不 搬 送	89				5			11		3	68	2
	搬送人員	529				20	7	1	83		3	325	90
傷病者	死　亡	9							1		1	7	
	重　症	100				1	1		17			50	31
	中 等 症	218				4	5		22		2	131	54
	軽　症	202				15	1	1	43			137	5
	そ の 他												

3　平成26年以降の救急出動件数・搬送人員数

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
出動件数	2, 346	2, 226	2, 362	2, 356	2, 302	2, 363	2, 212	2, 321	2, 707	2, 984
搬送人数	2, 043	1, 950	2, 101	2, 058	1, 987	2, 055	1, 876	2, 006	2, 240	2, 287
出場件数前年比（%）		94. 8	106. 1	99. 7	97. 7	102. 6	93. 6	104. 9	116. 6	110. 2

4　時間別事故種別出動件数

（件数）

区分＼事故種別		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			計
												転院搬送	医師搬送	その他	
計				2	140	46	22	426	6	26	1997	310	3	6	2984
時間別内訳	0～2				4			15	2	3	114	6		2	146
	2～4					1		11			80	4			96
	4～6				1	2		15		2	76	2		1	99
	6～8				13	3		19		3	171				209
	8～10				19	9		65	1	4	218	51	1	1	369
	10～12				23	11	9	51	1	4	232	76			407
	12～14				23	4	3	57		2	197	67	1		354
	14～16				21	11	6	51	1	2	189	37	1		319
	16～18				17	3	1	52		1	217	33			324
	18～20			1	11		2	36		3	195	15		2	265
	20～22			1	6	2	1	32		2	180	8			232
	22～24				2			22	1		128	11			164

5　時間別事故種別搬送人員数

（人数）

区分＼事故種別		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
計				1	114	39	21	342	2	10	1,447	311	2,287
時間別内訳	0～2				4			6	1	1	82	6	100
	2～4					1		7			47	4	59
	4～6				1	2		8		1	54	2	68
	6～8				8	2		13			128		151
	8～10				16	9		61	1	2	175	52	316
	10～12				20	9	9	46		3	174	76	337
	12～14				20	4	3	46		1	147	67	288
	14～16				19	8	5	43			138	37	250
	16～18				15	2	1	43			155	33	249
	18～20			1	6		2	27		1	141	15	193
	20～22				3	2	1	25		1	116	8	156
	22～24				2			17			90	11	120

6 収容所要時間別搬送人員数

収容所要時間 / 事故種別	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	計 (人)	収容平均所要時間(分)
急　病		8	129	998	295	17	1,447	49
交　通			8	79	24	3	114	53
一般負傷		2	24	234	78	4	342	50
その他	1	20	155	120	88		384	39
計	1	30	316	1,431	485	24	2,287	

7 事故種別傷病程度別搬送人員数

事故種別 / 傷病程度	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
死　亡					2		4		2	49	1	58
重　症				6	1	1	68		1	174	113	364
中等症				31	15	3	100	0	4	528	167	848
軽　症			1	77	21	17	170	2	3	696	30	1,017
その他												0
計	0	0	1	114	39	21	342	2	10	1,447	311	2,287

8　事故種別医療機関別搬送人員数

医療機関等	救急告示医療機関						その他の医療機関						計					その他の場所	合計
	国立	公立	公的	私的		計	国立	公立	公的	私的		計	国立	公立	公的	私的			
				病院	診療所					病院	診療所					病院	診療所		
その他	63	262		18	1	344		1		15	24	40	63	263		33	25		384

9　管内救急告示病院一覧

番号	病院名	経営主体	住所	院長	病床数	告示年月日
1	宮崎県立日南病院	宮崎県	日南市木山 一丁目9番5号	原　誠一郎	281床	令和元年7月17日
2	日南市立中部病院	日南市	日南市大堂津 五丁目10番1号	中津留　邦展	88床	令和3年4月5日

10　救急隊員の行った応急処置件数

事故種別 / 応急処置	急　病	交　通	一般負傷	その他	計
応急処置対象人員（人数）	1,446	114	342	383	2,285
止　　血	2	2	26	3	33
固　　定	7	27	24	15	73
人　工　　呼　吸	5			5	10
心 マ ッ サ ー ジ					0
心　肺　　蘇　生	51		4		55
酸　素　　吸　入	299	8	19	100	426
気　道　　確　保	59		5	7	71
保　　温	54	2	9	17	82
被　　覆	5	15	55	8	83
在　宅　　療　法	3		1		4
ショック パンツ					0
除　　細　　動	3			1	4
輸　　液	30	1	5	2	38
薬　剤　　投　与	21		3	3	27
その他の応急処置	1,421	108	329	351	2,209
血　圧　　測　定	1,383	112	335	365	2,195
聴　診　　器　等	989	88	177	133	1,387
血　中　　酸　素	1,402	114	337	378	2,231
心　　電　　図	1,313	78	250	278	1,919
β 刺 激 薬 投 与					0
静 脈 路 確 保	30	1	5	2	38
血　糖　測　定	89	1	2	5	97
エ ピ ペ ン 投与					0
ブ ド ウ 糖 投 与	4				4
計　（件数）	7,170	557	1,586	1,673	10,986

11　事故種別年齢区分搬送人員数

（人数）

事故種別／年齢区分	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
新生児											2	2
乳幼児				1			4			28	6	39
少年				8		18	8			26	2	63
成人			1	50	31	3	48	1	7	323	65	529
高齢者				55	8		282	1	3	1,070	236	1,655
計	0	0	1	114	39	21	342	2	10	1,447	311	2,287

12　年齢区分別傷病程度別搬送人員数

（人数）

	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	計
死亡				12	46	58
重症	1	2	1	63	297	364
中等症	1	13	9	148	677	848
軽症		24	52	306	635	1,017
その他						
計	2	39	62	529	1,655	2,287

13　現場到着所要時間別出場件数

（件数）

時間 ＼ 事故種別	所要時間区分					計	現場到着平均所要時間
	3分未満	3～5分未満	5～10分未満	10～20分未満	20分以上		
急　病	7	37	1,086	783	84	1,997	10
交　通		5	68	57	10	140	10.7
一般負傷	1	5	201	195	24	426	10.5
その他	5	17	261	126	12	421	9.3
計	13	64	1,616	1,161	130	2,984	

14　事故種別不搬送理由別不搬送件数

（件数）

事故種別 ＼ 不搬送理由	火災	自然火災	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計
											転院搬送	医師搬送	資機材輸送	その他	
辞退（到着前）				1						4					5
辞退（到着後）			1	28	6	1	79	4	3	483				2	607
拒　否				1			1		1	9					12
明らかな死亡							1		12	42					55
他車(隊)搬送				3			2			6		1			12
傷病者なし				2			1			4				2	9
誤報・いたずら										1				1	2
その他					1					2		2			5
計	0	0	1	35	7	1	84	4	16	551	0	3	0	5	707

15　事故種別転送回数別搬送人員数

（人数）

事故種別 / 転送回数	急　　病	交　　通	一般負傷	そ　の　他	計
0　回	1,416	112	324	383	2,235
1　回	31	2	18	1	52
2　回					
3　回					
4　回					
5　回					
計	1,447	114	342	384	2,287

16　傷病程度別転送回数別搬送人員数

（人数）

転送回数 / 傷病程度	0　回	1　回	2　回	3　回	4　回	5回以上	計
死　亡	58						58
重　症	347	17					364
中 等 症	825	23					848
軽　症	1,005	12					1,017
その他							0
計	2,235	52	0	0	0	0	2,287

17　令和５年中の救助業務概要

（１）救助隊概要

日南市の救助業務は、日南市消防署に１隊２交替制の救助小隊を配置し、合計 16 名の隊員（４名救急救命士）で業務を行っています。

（２）任務・近況

救助隊員は、火災救助をはじめ、交通事故、水難事故、山岳事故や自然災害による事故、特殊災害対応等あらゆる災害に対し活動を行っています。

また、それらの各種災害に対応するため、高度な救助技術の習得や、強靭な心身の向上など、通常業務時には厳しい訓練を日々行っています。

近年、救助事案は全国的に減少傾向ではあるが、災害が発生してしまうと、都市構造の高度化、複雑化により、災害の大規模化、活動の長期化が懸念されています。

（３）連携

災害事案によっては、活動現場への進入が困難な場合や、要救助者の搬送に時間を費やす場合があるが、宮崎県防災救急ヘリコプターの活動により、安全で短時間な隊員の投入、要救助者の搬送が可能となっています。

また、平成 24 年 4 月 18 日から運航開始した宮崎県ドクターヘリコプター及びドクターカーによる医師の現場投入や、災害現場で医師による処置が行えるなど、要救助者に対して高度な医療処置の提供に効果を上げています。

（４）活動の概要

令和５年中の救助活動の大半は交通事故となっており、交通事故の出動件数は全体の３６％（全１１件中４件）を占めています。このような交通事故救助活動の内容は車両内に閉じ込められ、自力で車外に脱出できないため救助要請されるもので、ドアの解放や挟まっている部分の間隙を作るために油圧救助器具等を活用しての救出方法を行っています。

なお、救助出動件数、活動件数については管轄別救助活動状況に記入してありますので、参考にしてください。

18　事故種別救助活動状況

管轄＼事故種別		火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	爆発事故	その他事故	合計
本署	出動件数		4	2		2				3	11
	活動件数		2			2				3	7
	救助人員		3			2				3	8

19　管轄別救助出動件数

管轄＼事故種別	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	爆発事故	その他事故	合計
本署		3	2						2	7
北郷		1								1
南郷					2				1	3

消防水利・機械

1　消防水利施設

（令和6年4月1日現在）

区分 / 地区別		消火栓 地上 150㎜以上	消火栓 地上 150㎜未満	消火栓 地下 150㎜以上	消火栓 地下 150㎜未満	防火水槽 40㎥以上	防火水槽 20㎥～40㎥未満	貯水池 40㎥以上	井戸	プール	水利合計	適合水利 消火栓	適合水利 防火水槽
飫肥	公設			19	125	10	17			4	175	19	10
	私設					1					1		1
吾田	公設			129	225	8	11			4	377	131	8
	私設					1					1		1
油津	公設		1	86	126	13	4			3	233	171	13
	私設												
東郷	公設			49	81	7	13			2	152	75	7
	私設				2	1					3	1	1
細田	公設			26	88	13	18			4	149	38	13
	私設				1						1		
鵜戸	公設			1	30	9	11			1	52	4	9
	私設												
酒谷	公設				6	10	16			1	33		10
	私設												
北郷	公設			5	80	65	17			1	168	7	65
	私設												
南郷	公設	1	1	59	144	45	29			4	283	79	45
	私設												
公　設		1	2	374	905	180	136			24	1,622	524	180
私　設					3	3					6	1	3
合　計		1	2	374	908	183	136			24	1,628	525	183

２　常備消防・機械性能一覧

（令和6年4月1日現在）

車 名	車　両	登録番号	登録年月日	ポンプ 級別・型式等	備　　考
１号車	水Ⅱ型2ｔ	830さ 2005	平成17年 2月18日	吉　谷 A2タービン	水槽付消防ポンプ自動車 日野
２号車	水槽車5ｔ （大型車）	830そ 2019	令和 2年 3月30日	シバウラ（可搬） Ｂ-2級ＦＳ500	 日野
３号車	ＣＤＩ	800す 1741	平成26年11月25日	モリタ	消防ポンプ自動車 日野
５号車	水ＩA型1.5ｔ	800は 862	平成23年 3月31日	ＧＭイチハラ A2タービン	泡消火装置付 水槽付消防ポンプ自動車 日野
６号車	水ＩA型1.5ｔ	800は 807	平成22年 3月31日	ＧＭイチハラ A2タービン	泡消火装置付 水槽付消防ポンプ自動車 日野
７号車	指揮車 （普通乗）	80さ 9731	平成23年 3月28日		 三菱
８号車	資機材搬送車 （クレーン付）	800す 272	平成24年 3月29日		 日野
９号車	火災調査車 （軽自動車）	883あ 2020	令和3年　1月25日		 ダイハツ
10号車	救助工作車	831は 119	令和3年　3月17日		 日野
11号車	化学車 （中型車）	800は 1083	平成27年 2月19日	モリタ	泡消火装置付 日野
救急１	高規格救急車	830さ 2016	平成28年 2月10日		 トヨタ
救急４	高規格救急車	830さ 2304	令和5年 3月 9日		 日産
救急５	高規格救急車	830せ 2405	令和6年 3月21日		 トヨタ
救急６	高規格救急車	830さ 2206	令和4年 2月10日		 トヨタ
	救急普及 啓発活動車	880す 4383	令和元年11月11日		一般財団法人救急振興財団寄贈 日産

救予備車	救急車	830さ 2305	平成23年 2月25日		 トヨタ

3　機械器具配置状況

（令和6年4月1日現在）

所属		緊急自動車													小型動力ポンプ	小計	合計
		水槽付消防ポンプ車	消防ポンプ車	小型動力ポンプ付水槽車	化学消防ポンプ車	救助工作車	資器材搬送車	高規格救急車	指揮車	火災調査車	連絡車	小型動力ポンプ積載車	その他の車両	小計			
消防本部									1	1	1		1	4			4
消防署		1	1	1	1	1	1	2						8			8
北郷出張所		1						1						2			2
南郷出張所		1						1						2			2
小計		3	1	1	1	1	1	4	1	1	1		1	16			16
消防団	団本部												1	1			1
	飫肥分団		1									4		5			5
	吾田分団		1									3		4			4
	油津分団		1									1		2			2
	東郷分団		1									4		5			5
	細田分団		1									5		6			6
	鵜戸分団		1									3		4			4
	酒谷分団		1									2		3			3
	小計		7									22		30			30
	北郷大藤分団		1									2		3			3
	北郷郷之原分団		1									2		3			3
	北郷北河内分団	1										2		3	1	1	4
	小計	1	2									6		9	1	1	10
	南郷中央分団		1									2		3			3
	榎原分団		1									3		4			4
	潟上分団		1									3		4			4
	小計		3									8		11			11
合計		4	13	1	1	1	1	4	1	1	1	36	2	66	1	1	67

4　非常備消防車両

（令和6年4月1日）

NO	分団	部（格納庫）	車　両	登録番号	登録年月日	燃　料	備　考
1	飫肥分団	１部（鳥居下）	ポンプ車	830さ2301	令和5年3月14日	軽　油	AT車
2		２部（板　敷）	積載車	830つ1402	平成26年11月6日	ガソリン	
3		３部（今　町）	積載車	830つ2003	令和 2年12月14日	ガソリン	AT車
4		４部（吉野方）	積載車	830す1204	平成24年11月21日	ガソリン	
5		５部（楠　原）	積載車	830さ1209	平成24年11月20日	ガソリン	
6	吾田分団	１部（星　倉）	積載車	830す1701	平成29年12月4日	ガソリン	AT車
7		２部（戸　高）	積載車	830す1702	平成29年12月4日	ガソリン	AT車
8		３部（平　野）	ポンプ車	800す　76	平成23年12月21日	軽　油	
9		４部（隈　谷）	積載車	830せ1204	平成24年11月21日	ガソリン	
10	油津分団	１部（園　田）	ポンプ車	830そ2001	令和 3年 3月25日	軽　油	AT車
11		２部（園　田）	積載車	800す 4451	令和 2年 1月15日	ガソリン	総務省貸付
12	東郷分団	１部（殿　所）	積載車	800す 118	平成24年1月18日	ガソリン	
13		２部（松　永）	積載車	830せ2202	令和4年3月25日	ガソリン	AT車
14		３部（益　安）	積載車	800さ9505	平成22年10月21日	ガソリン	
15		４部（風　田）	積載車	830す2504	令和5年3月28日	ガソリン	AT車
16		５部（甲　東）	ポンプ車	830そ1405	平成26年12月9日	軽　油	
17	細田分団	１部（大堂津）	ポンプ車	800す1836	平成27年2月5日	軽　油	総務省貸付
18		３部（下　方）	積載車	800さ8417	平成28年11月21日	ガソリン	
19		４部（毛吉田）	積載車	800さ9508	平成22年10月21日	ガソリン	
20		５部（萩之峯）	積載車	830す1905	令和 2年 4月15日	ガソリン	AT車
21		６部（下塚田）	積載車	830さ1906	令和 2年 4月15日	ガソリン	AT車
22		７部（大　窪）	積載車	830そ1407	平成26年11月5日	ガソリン	
23	鵜戸分団	１部（吹毛井）	積載車	800す 117	平成24年1月18日	ガソリン	
24		２部（富　土）	積載車	800さ9218	平成22年3月23日	ガソリン	
25		３部（宮　浦）	ポンプ車	800さ6579	平成18年2月1日	軽　油	
26		４部（伊比井）	積載車	830さ1804	平成31年3月8日	ガソリン	AT車
27	酒谷分団	１部（桜馬場）	ポンプ車	800さ9734	平成23年3月30日	軽　油	
28		２部（鯛の子）	積載車	830す2902	平成29年12月6日	ガソリン	AT車
29		３部（名尾ノ下）	軽積載車	883あ2103	令和4年3月9日	ガソリン	AT車

ＮＯ	分団	部（格納庫）	車　両	登録番号	登録年月日	燃　料	備　考
1	北郷大藤分団	１部（内之田）	積載車	830た1401	平成26年11月6日	ガソリン	
2		２部（大　藤）	ポンプ車	830そ1802	平成31年3月22日	軽　油	AT車
3		３部（倉　迫）	積載車	800さ4814	平成15年12月18日	軽　油	
4	北郷郷之原分団	１部（太　夫）	積載車	800さ4815	平成21年12月15日	軽　油	
5		２部（一之瀬）	積載車	830す1602	平成28年12月14日	ガソリン	
6		３部（立　野）	ポンプ車	830さ2803	平成29年2月14日	ガソリン	
7	北郷北河内分団	１部（坂　元）	水槽付きポンプ車	800さ8541	平成21年2月26日	軽　油	
8		２部（平　佐）	軽積載車	880あ 296	平成19年12月10日	ガソリン	
9		３部（田　代）	積載車	800さ6663	平成18年3月3日	軽　油	
10	南郷中央分団	１部（目井津）	積載車	830そ2901	平成29年12月6日	ガソリン	AT車
11		２部（栄　松）	積載車	830ね 119	平成18年12月22日	ガソリン	
12		３部（中央町）	ポンプ車	800さ6504	平成17年12月20日	軽　油	
13	榎原分団	１部（津屋野）	積載車	830さ1303	平成25年11月20日	ガソリン	
14		２部（上中村）	積載車	800す 184	平成24年2月24日	ガソリン	
15		４部（下　講）	ポンプ車	800さ7985	平成20年3月7日	軽　油	
16		５部（上　講）	積載車	880さ9217	平成22年3月23日	ガソリン	
17	潟上分団	１部（贄　波）	積載車	830さ1207	平成24年10月11日	ガソリン	
18		２部（新　開）	ポンプ車	800さ5635	平成16年12月9日	軽　油	
19		３部（和　田）	積載車	800さ9219	平成22年3月23日	ガソリン	
20		３部（大　迫）	軽デッキバン	883あ1603	平成29年1月16日	ガソリン	

1	本部	12号車	防災学習指導車	800す4474	令和2年1月21日	ガソリン	
2	本部	予備車	軽積載車	880あ562	平成22年3月24日	ガソリン	

火　災

１　令和５年中の火災概要

（１）　出火件数

令和 5 年中の出火件数は 16 件で、昨年と同数でした。

火災種別ごとにみると、建物火災が 10 件で総出火件数の 60％と昨年より増加しました。

それ以外は、車両火災が 1 件、火入れによるその他の火災が 5 件ありました。

（２）　火災の損害・死傷者の状況

焼損棟数は 10 棟で昨年より増加しましたが、焼損床面積は 332 ㎡と前年の 3 割程度でした。

損害額は 20,576 千円で昨年の 14,829 千円より損害が増加しました。

火災による死傷者数は無く、軽症者が 1 名ありました。

（３）　出火原因

主な出火原因は「不明」を除くと「火入れ」が 4 件、電気火災（投げ込みヒーターの過熱）が１件、車両火災（自殺目的の放火）が 1 件ありました。

（４）　時間帯別火災発生状況

火災発生を時間帯別にみると、建物火災は 16 時以降に 5 件発生しています。なお、火入れによるその他火災については日中（8 時～18 時）に 4 件発生しました。

２　令和5年月別火災発生状況

区分＼月別	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	計
火 災 件 数	1	1	4				1	2		2	5		16
建物火災	1	1	3				1			1	3		10
林野火災													
車両火災											1		1
船舶火災													
その他火災			1					2		1	1		5
焼失床面積（㎡）	269		52								11		332
焼失表面積（㎡）	45	48	47				0.5			35	241		416.5
林　野（ａ）													
そ の 他(a)													0
損害額（千円）	14,337	144	5,201	0	0	0	1	0	0	25	898	0	20,606
建物火災	14,337	144	5,201				1			25	868		20,576
林野火災													
車両火災											30		30
船舶火災													
その他火災													0
焼 損 棟 数	4	1	4				1			1	3		14
罹災世帯数	4	1	3				1			1	4		14
死　者　数													0
負 傷 者 数								1					1

3　令和5年火災発生記録

件数	発生日時		鎮火	火災	出火地区	覚知方法	燃焼時間（分）	焼失面積 ㎡ その他 a		損害程度 林野等はa	死者	負傷者	気象状況					出火原因
	月日	時分	時分	種別				床面積	表面積				天候	風向	風速	湿度	気温	
1	1月31日	16:50	19:15	建物	星倉六丁目	119	2:25	269.13	44.66	全焼３棟 部分焼１	―	―	晴	西	2	38	14	不明
2	2月7日	5:30	8:25	建物	酒谷	加入	2:55	―	47.4	部分焼	―	―	雨	北東	6	97	11	漏電（鶏舎）
3	3月3日	13:40	13:59	その他	中央通二丁目	119	0:19	―	―	―	―	―	晴	南	3	58	14	JR日南線の土手 不明
4	3月10日	15:40	16:23	建物	中平野町	119	0:43	2.3	―	部分焼	―	1	晴	東南東	5	63	20	投げ込みヒーターの過熱
5	3月14日	19:45	19:58	建物	星倉六丁目	119	0:13	0.6	4.1	部分焼	―	―	晴	北北西	2	77	12	残灰からの再燃
6	3月30日	2:20	3:11	建物	南郷町 中村甲	119	0:51	48.6	―	全焼１棟 部分焼１	―	―	晴	北北西	2	87	11	不明
7	7月15日	16:10	16:36	建物	東郷 平山	119	0:26	―	0.5	ぼや	―	―	晴	西南西	4	80	31	溶接火花が鋸屑へ。その後、タキロンへ着火。
8	8月13日	12:20	13:10	その他	東郷 平山	119	0:50	―	―	―	―	1	晴	南	4	78	31	火入れ後の延焼拡大
9	8月24日	0:00	4:20	その他	酒谷乙	119	4:20	―	―	―	―	―	晴	北北西	1	98	25	火入れの放置
10	10月2日	11:20	11:51	建物	益安	加入	0:31	―	12.5	部分焼	―	―	曇	北東	5	64	24	飛び火の可能性があるが不明
11	10月12日	12:25	12:40	その他	吾田東三丁目	119	0:15	―	―	―	―	―	晴	東北東	6	61	24	火入れ
12	11月5日	10:30	11:20	その他	今町一丁目	119	0:50	―	―	―	―	―	晴	東	4	73	25	火入れからの延焼
13	11月6日	1:50	2:20	建物	南郷町 津屋野	119	0:30	0.25	―	ぼや	―	―	曇	北	0	98	19	塗料の酸化反応により発火
14	11月19日	17:12	17:50	建物	北郷町 郷之原甲	119	0:38	10	―	半焼	―	―	晴	西北西	3	60	16	不明
15	11月23日	21:25	22:14	車両	南郷町 中村甲	119	0:49	―	―	全焼	―	―	晴	北西	1	93	16	自殺目的での放火
16	11月28日	18:50	22:20	建物	南郷町 榎原甲	119	3:30	4	241.2	部分焼	―	―	晴	無風	0	63	14	機械の不具合で摩擦熱による大鋸屑への着火

4　時間別出火件数

5　過去５年間種別火災発生件

６　平成１４年以降の１，０００万円以上の損害を出した火災

年　月　日 出火推定時刻	出　火　地　区	焼　損　概　要	原　　因	損　害　額 （千　円）
平成14年 3月 8日 14時00分	油津・西町一丁目	住宅２棟全焼	不明	10,000
平成14年 5月 9日 4時30分	北郷・北河内	住宅１棟全焼	かまどの不備	23,335
平成14年 8月21日 18時55分	東郷・益安	住宅２棟全焼 住宅２棟部分焼	提灯の落下	11,668
平成14年 8月31日 16時40分	東郷・平山	住宅１棟全焼	てんぷら鍋 の放置	17,985
平成15年 1月14日 8時42分	油津・園田三丁目	木材乾燥機	不明	13,539
平成15年 9月22日 18時10分	東郷・平山	住宅１棟全焼 住宅１棟ぼや	不明	12,659
平成15年11月30日 16時10分	油津･油津一丁目	住宅２棟全焼 住宅４棟ぼや	てんぷら鍋 の放置	16,228
平成15年12月 5日 14時50分	吾田･吾田東二丁目	住宅１棟全焼 住宅２棟ぼや	不明	39,275
平成16年 3月14日 20時00分	東郷・風田	住宅３棟全焼 住宅１棟部分焼	不明	27,733
平成18年 2月16日 8時17分	南郷・外浦	漁船１隻全焼	不明	69,000
平成18年11月3日 10時31分	吾田･釈迦尾ケ野	店舗一棟全焼	不明	16,329
平成18年11月 5日 8時28分	吾田・吾田西四丁目	店舗一棟半焼	不明	147,569
平成23年 8月20日 20時30分	南郷・津屋野	住宅１棟全焼	提灯の落下	12,714
平成24年 3月18日 22時30分	油津・木山	店舗1棟全焼	不明	56,441
平成24年 7月13日 19時00分	吾田・戸高	工場1棟部分焼	不明	63,816
平成27年12月11日 5時00分	北郷・北河内	豚舎１棟全焼	不明	17,384
平成28年1月11日 19時42分	北郷・郷之原	店舗１棟全焼	不明	32,551
平成30年3月2日 21時30分	油津・梅ヶ浜	工場１棟全焼	不明	105,489
令和5年1月31日 16時50分	吾田・星倉六丁目	住宅３棟全焼 住宅１棟部分焼	不明	14,337

7　平成１３年以降地区別出火状況

(件)

地区 年	飫　肥	吾　田	油　津	東　郷	細　田	鵜　戸	酒　谷	北　郷	南　郷	総　計
平成13年		7	3	3		2	1	6	3	25
平成14年	6	21	2	4	4	1	4	10	4	56
平成15年	6	14	7	9	1	2	1	2	7	49
平成16年	8	10	5	6	5		7	3	6	50
平成17年	4	9	3	5	4		3	2	6	36
平成18年	7	11	5	4	6	3	1		7	44
平成19年	8	13	2	3	1		6	2	9	44
平成20年	8	13	2	3	1		6	2	9	44
平成21年	3	5	7	2	2	2	4	3	4	32
平成22年	3	8	1	5	1			1	3	22
平成23年	3	9	5	5	2	4	1	8	7	44
平成24年	2	7	9	2	2			1	6	29
平成25年	3	6	3	1	2		2	6	1	24
平成26年	6	3	4	1	1	1		4	2	22
平成27年	2	2	2	2	2	3		5	5	23
平成28年	2	1	2			1	3	3	2	14
平成29年	1	6	2	5	2	3	1	2	6	28
平成30年	3	5	1		2	2		8	3	24
令和元年	2	2		1	1	2	1	4	5	18
令和2年		2	3	2	4			1	4	16
令和3年	5	4		2	1		1	5	2	20
令和4年	1	2	2	3	3		1	1	3	16
令和5年	1	5		3			2	1	4	16
累　計	84	165	70	71	47	26	45	80	108	696

８　平成１３年以降死者を出した火災

年　月　日 出火推定時刻	出火地区	焼損概要	死者数	出火原因
平成13年11月12日 3時00分	東郷・益安	住宅１棟全焼	1	不明
平成14年12月25日 22時25分	北郷・郷之原	住宅１棟全焼	1	不明
平成15年 2月 4日 18時40分	飫肥・板敷	住宅１棟半焼	1	不明
平成15年12月12日 21時00分	吾田・星倉	住宅１棟部分焼	1	着衣着火
平成16年 3月 9日 6時15分	東郷・益安	住宅１棟全焼	2	不明
平成16年12月26日 18時10分	北郷・大藤	住宅１棟全焼	1	不明
平成17年2月19日 7時15分	南郷・栄松	住宅１棟半焼	1	放火自殺
平成17年 2月24日 3時20分	東郷・風田	住宅１棟全焼 非住宅１棟全焼	1	石油ストーブからの出火
平成18年 3月23日 1時20分	鵜戸・宮浦	住宅２棟全焼	1	不明
平成18年 9月17日 22時57分	南郷・贄波	住宅１棟全焼	1	不明
平成19年 1月30日 17時29分	酒谷・上永野	住宅１棟全焼	1	てんぷら鍋の放置
平成19年 1月31日 5時45分	飫肥・吉野方	住宅１棟部分焼	1	放火自殺
平成20年 1月5日 5時　8分	東郷・風田	車両１台全焼	1	漏れた燃料にバッテリーの火花が引火
平成20年 2月10日 7時00分	油津・油津一丁目	共同住宅 １部屋全焼	1	着衣着火
平成21年10月13日 6時17分	細田・塚田	車両１台全焼	1	漏れた軽油にバッテリーの火花が引火
平成22年　8月14日 2時20分	東郷・松永	住宅１棟全焼	1	不明
平成23年 1月5日 9時48分	油津・岩崎二丁目	車両１台全焼	1	放火自殺
平成24年 5月29日 3時00分	細田・大窪	住宅１棟全焼	1	不明
令和元年10月 1日 17時59分	南郷・中村乙	住宅１棟部分焼	1	不明
令和 4年 4月28日 22時30分	南郷・潟上	住宅１棟全焼	1	不明

9　過去５年間の原因別出火件数と損害額

（単位：千円）

年 原因	令和元年		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年	
	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額
たばこ					1					
たき火										
火入れ	4	207	6	1,042	8	215	6		4	
火遊び										
こんろ							1	18		
放　火					1	627			1	300
放火の疑い										
風呂・かまど	2						1	50		
ストーブ										
マッチ・ライター	2									
煙突・煙道	1	1,141								
電灯・電話等の配線			1	141					1	143
その他	3	923	2	4	4	1	1		3	190
不明・調査中	6	9,122	7	12,858	6	13,996	7	18,605	7	19,962
計	18	11,393	16	14,045	20	14,839	16	18,673	16	20,595

10　過去５年間の林野火災

年 区分	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
火災件数（件）	0	0	0	0	0
焼損面積（ａ）	0	0	0	0	0
焼損額（千円）	0	0	0	0	0
一件あたりの焼損面積（ａ）	0	0	0	0	0
一件あたりの焼損額（千円）	0	0	0	0	0

危険物

1　令和5年度の危険物関係及び防火対象物の概要

（1）危険物関係

令和5年度の危険物施設は164施設で、令和5年度中は、設置許可申請が2件（一般取扱所、移動タンク貯蔵所）ありました。廃止届は、2件（一般取扱所、移動タンク貯蔵所）ありました。なお、当該危険物施設の立入検査につきましては、84件実施し、適宜火災予防上の指導を行いました。

危険物の事故等について、今年度は発生していませんが、事故等が発生しないように立入検査等を行い、事故防止に努めていきます。

令和5年度内の危険物施設の変更許可申請件数は12件で、危険物施設に多く見られる経年劣化に伴い、地下タンク貯蔵所のタンク及び配管の腐食箇所等から漏洩する可能性があります。また、全国各地で地震等の災害が発生していることに伴い、非常用発電機設備の設置が増加傾向にありますので、今後も継続して危険物施設の維持管理の徹底指導を実施します。

（2）防火対象物

令和5年度の消防用設備等を要する対象物は1,592棟で、今年度は、消防本部対応120棟のうち22棟、消防署対応228棟のうち224棟、計246棟の防火対象物立入検査を実施しました。

平成18年1月8日、長崎県のグループホーム「やすらぎの里」で発生した火災で、死者7名、負傷者3名、さらに、平成25年2月8日、長崎市の認知症高齢者グループホームで発生した火災では、死者5名、負傷者7名を出す惨事が起きたことにより、消防法施行令等が改正され、避難困難者が主として入所する社会福祉施設に対し、原則として延べ面積に関わらず、スプリンクラー設備の設置、消防機関へ通報する火災報知設備と自動火災報知設備の連動を義務付ける事となりました。また、上記火災などを受け、ホテル、病院等においても、延べ面積に関わらず自動火災報知設備の設置が義務付けられる事となりました。

平成28年12月22日に発生した新潟県糸魚川市での大規模火災を受けて、令和元年10月1日から、火を使用する全ての飲食店に消火器の設置及び点検報告が義務付けられました。

また、令和3年12月17日大阪市北区で発生した火災により、ガソリンの詰替えに関する基準が改正され、給油取扱所（ガソリンスタンド）等の危険物施設において、ガソリンを容器に詰め替えて販売する場合には、①顧客の本人確認、②使用目的の確認、③販売記録の作成（1年間保存）を行うことが義務づけられた。

平成30年6月15日、住宅宿泊事業法が施行された後、既存住宅において宿泊施設を営む民泊が年々増加しています。今後も増加することが予想されることを踏まえ、不特定多数の方が利用される施設の消防用設備等の設置と維持管理の指導はもとより、違反対象物の是正を図っていかなければなりません。

２　危険物施設状況

（令和6年4月1日現在）

製造所別＼地区別			日南地区	北郷地区	南郷地区	計
製　造　所				1		1
貯蔵所	屋　内　貯　蔵　所		4		4	8
	屋外タンク貯蔵所		19	5	7	31
		特定屋外タンク	(2)			(2)
		準特定屋外タンク			(2)	(2)
	屋内タンク貯蔵所					
	地下タンク貯蔵所		12	7	3	22
	簡易タンク貯蔵所					
	移動タンク貯蔵所		10	5	2	17
	屋　外　貯　蔵　所		2		1	3
小　　計			47	18	17	82
取扱所	給　油　取　扱　所		35	7	7	49
		屋　　内	(2)			(2)
		自 家 用	(11)	(3)	(1)	(15)
		船　　舶	(1)		(2)	(3)
	一　般　取　扱　所		20	5	5	30
	移　送　取　扱　所					
	第１種販売取扱所				1	1
	第２種販売取扱所		3			3
小　　計			58	12	13	83
合　　計			105	30	30	165

＊( )内については、施設内における特殊用途施設

3　危険物類別状況

（令和6年4月1日現在）

類別 / 製造所別		危険物の種類							計
		第一類	第二類	第三類	第四類	第五類	第六類	混在	
製造所					1				1
貯蔵所	屋内貯蔵所				8				8
	屋外タンク貯蔵所				31				31
	屋内タンク貯蔵所								0
	地下タンク貯蔵所				22				22
	簡易タンク貯蔵所								0
	移動タンク貯蔵所				17				17
	屋外貯蔵所				3				3
小計		0	0	0	82	0	0	0	82
取扱所	給油取扱所				49				49
	第１種販売取扱所				1				1
	第２種販売取扱所				3				3
	移送取扱所								0
	一般取扱所				30				30
小計		0	0	0	83	0	0	0	83
合計		0	0	0	165	0	0	0	165

4　危険物数量別施設数

（令和6年4月1日現在）

製造所別＼倍数別		5倍以下	10倍以下	50倍以下	100倍以下	150倍以下	200倍以下	1,000倍以下	5,000倍以下	10,000倍以下	計
製造所		1									1
貯蔵所	屋内貯蔵所	4	3	1							8
	屋外タンク貯蔵所	5	5	11	3	1		4	2		31
	屋内タンク貯蔵所										0
	地下タンク貯蔵所	11	5	6							22
	簡易タンク貯蔵所										0
	移動タンク貯蔵所	13		4							17
	屋外貯蔵所		2	1							3
小計		34	15	23	3	1	0	4	2		82
取扱所	給油取扱所	1	7	13	10	8	2	8			49
	第１種販売取扱所	1									1
	第２種販売取扱所			3							3
	移送取扱所										0
	一般取扱所	13	4	9	3			1			30
小計		15	11	25	13	8	2	9	0		83
合計		49	26	48	16	9	2	13	2		165

5　危険物施設の許可申請等処理状況

令和5年度(件)

製造所別＼申請別		設置許可	変更許可	完成検査前検査			完成検査		仮使用	仮貯蔵仮取扱	計
				水張検査	水圧検査	溶接部検査	設置	変更			
製造所											0
貯蔵所	屋内貯蔵所						1				1
	屋外タンク貯蔵所		2					2	1		5
	屋内タンク貯蔵所										0
	地下タンク貯蔵所		1					1			2
	簡易タンク貯蔵所										0
	移動タンク貯蔵所	1	1				1	1			4
	屋外貯蔵所										0
小計		1	4	0	0	0	2	4	1	0	12
取扱所	給油取扱所		10		3			10	10		33
	第１種販売取扱所										0
	第２種販売取扱所										0
	移送取扱所										0
	一般取扱所	1	1				1	1			4
仮貯蔵・仮取扱										3	3
小計		1	11	0	3	0	1	11	10	3	40
合計		2	15	0	3	0	3	15	11	6	52

6　危険物規制事務処理状況

令和5年度(件)

区分	月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	小計	合計
保安監督者選任・解任	日南地区		1			1	2	1	1					6	8
	北郷地区														
	南郷地区	1					1							2	
譲渡引渡届	日南地区		3						1					4	4
	北郷地区														
	南郷地区														
品名・数量倍数変更届	日南地区				1	1								2	2
	北郷地区														
	南郷地区														
工事届	日南地区	3			2	3		4			1			13	15
	北郷地区									1				1	
	南郷地区					1								1	
休止･開始届	日南地区			1			1							2	2
	北郷地区														
	南郷地区														
設置者･名称所在地変更届	日南地区	15	3		2					3				23	25
	北郷地区				1			1						2	
	南郷地区														
廃止届	日南地区					1				1				2	2
	北郷地区														
	南郷地区														
予防規程	日南地区	5	1			1	1							8	11
	北郷地区								1					1	
	南郷地区	1							1					2	
計	日南地区	23	8	1	5	7	4	5	2	4	1			60	69
	北郷地区				1			1	1	1				4	
	南郷地区	2				1	1		1					5	

7　危険物手数料徴収状況

（令和5年度）

申請書			件　　数		手数料徴収額（円）	計(円)
手数料内訳	設置許可		日南地区	2	78,000	78,000
			北郷地区			
			南郷地区			
	変更許可		日南地区	2	26,000	58,500
			北郷地区	1	19,500	
			南郷地区	1	13,000	
	変更許可及び仮使用		日南地区	7	219,800	329,400
			北郷地区	3	78,200	
			南郷地区	1	31,400	
	完成検査	設　置	日南地区	2	39,000	39,000
			北郷地区			
			南郷地区			
		変　更	日南地区	9	104,000	164,250
			北郷地区	4	40,750	
			南郷地区	2	19,500	
	完成検査前検査	溶接部検査	日南地区			0
			北郷地区			
			南郷地区			
		水張検査	日南地区			0
			北郷地区			
			南郷地区			
		水圧検査	日南地区	3	33,000	33,000
			北郷地区			
			南郷地区			
	仮貯蔵・仮取扱		日南地区	3	16,200	16,200
			北郷地区			
			南郷地区			
	少量危険物水張水圧検査		日南地区			0
			北郷地区			
			南郷地区			
	合　　計		日南地区	28	516,000	718,350
			北郷地区	8	138,450	
			南郷地区	4	63,900	

予　防

1　防火対象物状況（消防用設備及び防火管理者を要する対象物）

（令和6年4月1日現在）

区分		棟別	消防用設備等を要する対象物（棟別）	防火管理者を要する対象物	防火管理者を選任している対象物
消防法施行令別表第一による防火対象物	1	イ．劇場、映画館、演芸場又は観覧場	9	6	6
		ロ．公会堂又は集会場	16	16	16
	2	イ．キャバレー、ナイトクラブその他これらに類するもの			
		ロ．遊技場、又はダンスホール	10	10	10
		ハ．風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律に規する性風俗関連特殊営業を営む店舗			
		二．カラオケボックス等	1	1	
	3	イ．待合、料理店、その他これに類するもの			
		ロ．飲食店	59	37	37
	4	百貨店、マーケット、その他物品販売業を営む店舗又は展示場	88	58	58
	5	イ．旅館、ホテル又は宿泊所	52	43	43
		ロ．寄宿舎、下宿又は共同住宅	323	29	29
	6	イ．病院、診療所又助産所	60	22	22
		ロ．老人短期入所施設	62	50	50
		ハ．老人デイサービスセンター等	90	43	43
		二．幼稚園、・特別支援学校	8	3	3
	7	小・中学校、高等学校、大学その他これに類するもの	26	25	25
	8	図書館、博物館、美術館その他これに類するもの	5	5	5
	9	イ．公衆浴場のうち、蒸気、熱気浴場その他これに類するもの			
		ロ．イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	3	3	3
	10	車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場	2		
	11	神社、寺院、教会その他これに類するもの	7	4	4
	12	イ．工場又は作業場	307	20	20
		ロ．映画スタジオ又はテレビスタジオ			
	13	イ．自動車車庫又は駐車場	32		
		ロ．飛行機又は回転翼航空機の格納庫			
	14	倉庫	160	29	29
	15	前各項に該当しない事業場	196	51	51
	16	イ．複合用途防火対象物のうち、その一部が(1)項から(4)項、(5)項イ、(6)項、又は(9)項に掲げる防火対象物の用途に供されているもの	46	26	26
		ロ．イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	20	3	3
	17	文化財施設	10	4	4
	18	延長５０m以上のアーケード	2		
	計		1,594	488	487

２　令和5年度予防関係諸届出状況

（件）

月別 件名	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	計
消防用設備等 着工届	2	5	4	1	1	13	4	1	3	1	1	2	38
消防用設備等 設置届	5	0	6	4	9	4	7	10	0	9	6	5	65
液化石油ガス 貯蔵取扱届	2	4	2	4	0	3	1	0	0	1	1	1	19
ボイラー設置届	1	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	5
煙火打上げ 仕掛け届	2	2	2	9	3	5	9	2	1	1	1	2	39
催物開催届	0	1	0	0	1	0	4	1	1	0	0	0	8
火入れ届	5	5	2	6	3	7	11	7	12	21	11	3	93
発電変電設備 設置届	0	1	0	2	2	2	3	0	1	5	7	0	23
罹災証明	1	0	0	0	0	0	1	3	0	5	0	0	10
防火管理者 選任解任届	19	8	8	6	9	9	8	25	9	5	3	6	115
防火対象物 使用開始届	1	0	2	2	1	1	0	1	1	5	3	2	19
消防計画届	22	10	13	9	6	8	13	35	11	4	4	7	142
消防用設備等 点検結果報告	67	67	61	88	78	64	74	86	81	63	88	147	964
防火対象物 点検結果報告書	5	2	2	0	2	2	3	3	5	2	9	8	43
自衛消防訓練届	37	45	48	29	24	35	51	57	64	29	34	39	492
計	169	150	150	160	139	153	191	232	190	151	168	222	2075

3　令和5年度月別工事別建築申請処理状況

（件）

種別／月別	同意										指導件数	不同意	計
	新築	増築	改築	用途変更	修繕	模様替	移転	仮設	許可申請	計			
4	2									2			
5	5									5			
6	4	2								6			
7	3		1							4			
8										0			
9	4									4			
10	1									1			
11	2		2							4			
12	4	1								5			
1	3									3			
2	3	2								5			
3	1	1								2			
計	32	6								41			

4　令和5年度用途別建築申請処理状況表

用途 ＼ 月別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
	住　　宅	1	3	1	2		2	1	1	3	1	1		16
	併用住宅		1	1										2
1	イ．劇場、映画館、演芸場又は観覧場													0
	ロ．公会堂又は集会場													0
2	イ．キャバレー、ナイトクラブその他これらに類するもの													0
	ロ．遊技場、又はダンスホール													0
	ハ．風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律に規定する性風俗関連特殊営業を営む店舗													0
	二．カラオケボックス等													0
3	イ．待合、料理店、その他これに類するもの													0
	ロ．飲食店													0
4	百貨店、マーケット、その他物品販売業を営む店舗又は展示場				1						1		1	3
5	イ．旅館、ホテル又は宿泊所													0
	ロ．寄宿舎、下宿又は共同住宅	1									1		1	3
6	イ．病院、診療所又は助産院													0
	ロ．老人福祉施設、有料老人ホーム、更正施設、児童福祉施設													0
	ハ.老人デイサービスセンター等									2				2
	二．幼稚園、盲学校、聾学校又は養護学校													0
7	小・中学校、高等学校、大学その他これに類するもの													0
8	図書館、博物館、美術館その他これに類するもの													0
9	イ．公衆浴場のうち、蒸気、熱気浴場その他これに類するもの													0
	ロ．イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場											1		1
10	車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場													0
11	神社、寺院、教会その他これに類するもの													0
12	イ．工場又は作業場			1									1	2
	ロ．映画スタジオ又はテレビスタジオ													0
13	イ．自動車車庫又は駐車場		1	1										2
	ロ．飛行機又は回転翼航空機の格納庫													0
14	倉庫				1					1			1	3
15	前各項に該当しない事業場			1			2		1		1	2		7
16	イ．複合用途防火対象物のうち、その一部が(1)項から(4)項、(5)項イ、(6)項、又は(9)項イに掲げる防火対象物の用途に供されているもの													0
														0
	ロ．イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物													0
17	文化財施設													0
18	延長５０m以上のアーケード													0
20	その他													0
計		2	5	5	4	0	4	1	2	6	4	4	4	41

5　防火対象物の階層別状況

（令和6年4月1日現在）

令別表第１ ＼ 階層別		3　階	4　階	5　階	6　階	7　階	8　階	9　階	12階	計
1	イ	1								1
	ロ	1								1
2	イ									
	ロ									
	ハ									
	ニ									
3	イ									
	ロ	6	1							7
4		3	2							5
5	イ	8	1	1		2	2			14
	ロ	99	55	23	3	4		2	1	187
6	イ	4	3	1	2					10
	ロ	4	1	1	1					7
	ハ	1	1							2
	ニ									
7		32	2	1						35
8										
9	イ									
	ロ									
10										
11										
12	イ	6	2	2	2					12
	ロ									
13	イ									
	ロ									
14		1								1
15		26	5		1	1				33
16	イ	16	2	2			1			21
	ロ	4	4		2	1				11
16の2										
17										
18										
計		212	79	31	11	8	3	2	1	347

６　日南市幼年少年防火クラブ結成状況

幼年消防クラブ

（令和5年4月1日現在）

ＮＯ	防火クラブの名称	結成年月日	会員数
1	浄念寺学園および幼稚園幼年消防クラブ	昭和６０．１２．　１	28
2	学校法人立正学園 立正幼稚園幼年消防クラブ	平成３０．　５．１０	27

少年消防クラブ

ＮＯ	防火クラブの名称	結成年月日	会員数
1	北郷少年消防クラブ	昭和２５．　４．　１	10

日南市消防本部

発刊日(令和6年8月):警防課　指令係
〒889-2524
宮崎県日南市大字殿所 2026 番地 9
TEL:0987-23-1316
FAX:0987-23-7653
E メール:shirei@city.nichinan.lg.jp